

令和5年度（2023年度）取組実績一覧

⑤の達成状況は、④取組実績に対する所管課の評価。⑨関連指標は参考として掲載しており、⑤達成状況と相関関係に無い。

< 達成状況の評価基準 >

- 達成：取組内容が全て実施できたとき
- 概ね達成：実施したもの、一部取り組めなかったものがあるとき
- 未達成：実施したもの、大半が取り組めなかったとき
- 未実施：全く取り組まなかったとき

基本目標1 人権尊重と男女共同参画への意識改革

(1) 男女共同参画への理解促進

				R5年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標						
施策番号	①取組名	②取組内容	③所管課	④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用						
1	男女共同参画啓発事業	性別に基づく固定的な役割分担意識や性差に関する偏見の解消、人権尊重を基盤とした男女平等観の形成に関して、講演会や講座などを通して、誰もが主体的な問題として捉え理解を深めるとともに、男女共同参画に関する法令や社会動向及びSDGsに示された「ジェンダー平等」など、国際的な動向や多文化共生について周知と理解促進を図る。また、男女共同参画が男性自身の生き方の選択にかかわる重要な問題であるとの認識が深まるよう、男性を対象とした啓発に取り組む。	人権政策課	男女共同参画週間事業として、男性のジェンダーと生きづらさをテーマに動画による講演会（参加人数95人）を開催し、男らしさ、女らしさなど固定的な性別役割分担意識の解消に向けた取り組みを行った。身体的性差への理解促進を図るとともに、その性差を踏まえ女性の負担軽減を目的に、市の所管する施設のトイレに生理用品を配置した。市民を対象に安価で衛生的な生理用品を開発するために情熱を傾けた男性の姿を描いた映画「バッドマン」の上映会（参加者174名）を開催した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			事務事業実績測定指標						
													事務事業名称		男女共同参画啓発事業				
													所管課		人権政策課				
													指標種類		増加することが良いとされる指標				
													指標説明		イベントに参加し、男女共同参画の理解が深まったと答えた人の割合【算出式：アンケートにより理解が深まったと回答した人数/アンケート回答者数×100】				
													目標（見込み）		実績				
															R3	R4	R5	R6	R7
													90%		90.50%	86%	86%		
2	市民参画型啓発事業	市民、市民団体等の視点やアイデアを取り入れた事業の実施やNPO、PTA、事業所などと連携した取り組みや情報提供を通して、幅広い市民の男女共同参画意識の醸成を図る。	人権政策課	男女共生フロア・ウィル登録団体と市との協働に向けたミーティングの実施や登録団体と共催で講座を開催した。また、男女共同参画情報紙「モアタイム」に登録団体の寄稿や活動内容のPRなどを掲載し、市民団体の男女共同参画に関わる活動支援を行うことで、市民の男女共同参画意識の醸成を図った。	◎（達成）		推進・現状維持	△	○	◎			事務事業実績測定指標						
													事務事業名称		市民参画型啓発事業				
													所管課		人権政策課				
													指標種類		増加することが良いとされる指標				
													指標説明		男女共同参画の推進に主体的に参加したいと思う人の割合				
													目標（見込み）		実績				
															R3	R4	R5	R6	R7
													90%		-	-	-		
3	男女共生フロア等における各種相談事業	性差に基づく固定的な役割分担意識などを見直し、本人の持つ力を引き出して、自分で問題解決ができるような援助を提供するため、男女共生フロア・ウィルにおいて、女性を対象に電話相談、面接相談、法律相談を実施する。また、相談につながりにくい男性の利便性向上に向け、時間帯等に配慮した男性のための電話相談を実施する。	人権政策課	男女共生フロア・ウィルの女性のための各種相談は、面接相談358件、電話相談568件、法律相談88件であった。面接相談・電話相談ともに前年度から約1割増となった。男性のための電話相談は34件と前年度から3割減少した。	○（概ね達成）		推進・現状維持	◎	○	○			事務事業実績測定指標						
													事務事業名称		男女共生フロア・ウィル相談事業				
													所管課		人権政策課				
													指標種類		増加することが良いとされる指標				
													指標説明		自立に向け相談が役に立ったと答えた人の割合【算出式：アンケートにより相談が役に立ったと回答した人数/アンケート回答者数×100】				
													目標（見込み）		実績				
															R3	R4	R5	R6	R7
													90%		100%	94.4	76.9		

4	男女共生フロアの機能充実及び周知	市の男女共同参画の拠点施設である男女共生フロア・ウィルの機能充実を図るとともに、広報、ホームページ、リーフレットなどを活用し、男女共生フロアの機能及び啓発・相談事業等についての周知を図る。	人権政策課	広報・ホームページ・SNSにおいてイベントや講座、男女共生フロア・ウィルで実施している各種相談について周知を図るとともに、経済的に困窮する女性に対する生理用品（災害備蓄品）配布時に相談案内のリーフレットを同封し、潜在的に支援を必要とする方への周知を行った。情報誌「モアメイム」を市立幼稚園、小中学校、高等学校、大学に配布して男女共生フロア事業の周知を図った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			
---	------------------	--	-------	---	-------	--	---------	---	---	---	--	--	--

(2) 子どもの頃からの男女共同参画の推進

		R5年度の取組状況							⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標				
施策番号	①取組名	②取組内容	③所管課	④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用					
5	男女共同参画を推進するための保育	人権尊重を基盤とした男女平等観の形成を図るため、保育所（園）等での保育活動を通じて、男女の役割についての固定的な考え方にとらわれず、子どもたち自身の個性を伸ばす保育を行う。また、保育を通じて性別に基づく固定的な役割分担意識を助長することのないよう、教材や玩具などを男女共同参画の視点から点検する。	公立保育幼稚園課	保育士等との信頼関係を基盤に一人一人の子どもが主体的に活動し、性別にかかわらず、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるよう成長の過程を見守り適切に働きかけた。自我が成長し、性別を意識するようになる、概ね3歳ごろから、男の子だから女の子だからといった大人からの働きかけをしないような保育を行った。性別に基づく固定的な役割分担意識を助長することがないよう、教材や玩具などを点検した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								
			市立ひらかた子ども発達支援センター	保育士等との信頼関係を基盤に一人一人の子どもが主体的に活動し、性別にかかわらず、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるよう成長の過程を見守り適切に働きかけた。自我が成長し、性別を意識するようになる、概ね3歳ごろから、男の子だから女の子だからといった大人からの働きかけをしないような保育を行った。性別に基づく固定的な役割分担意識を助長することがないよう、教材や玩具などを点検した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	○	◎								
6	男女共同参画を推進するための教育	市の人権教育基本方針に基づき、学校園で人権教育推進計画を策定し、人権尊重を基盤とした男女平等観の形成を図る。また、男女の役割についての固定的な考え方にとらわれない職業選択ができるような職場体験学習、子どもの発達段階に応じた性教育など、子どもたち自身が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進する。また、教育を通じて性別に基づく固定的な役割分担意識を助長することのないよう、教材などを男女共同参画の視点から点検する。	支援教育課	全小中学校に男女平等教育推進のための校内組織を設置している。また、各教科、道徳、総合的な学習の時間、進路指導、生徒指導等、学校教育活動全体を通じて、児童・生徒の発達段階、実態に応じた男女平等教育の推進を図った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		人権教育推進事業			
													所管課		支援教育課			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		大阪府人権教育研究協議会等による研修等の参加教職員数			
													目標		実績			
													(見込み)		R3	R4	R5	R6
570人	564人	486人	435人															
7	PTA活動における男女共同参画の促進	男女ともにPTA活動への参画を促し、男女共同参画の視点に立った活動を促進する。	学校支援課	男女共同参画の視点に立った活動の促進を目的に、男女問わずPTA活動に参加しやすい環境づくりについて、枚方市PTA協議会事務局と連携を図った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎								
8	学校における方針決定の場への女性参画の促進（120に再掲）	学校運営において、女性管理職の割合の増加及び首席、主任への積極的な活用など、学校における方針決定の場への女性の参画を促進する。	教職員課	R5年度教職員の人事異動の結果、小中学校における女性管理職は以下のとおり。 小学校44校中、校長12人、教頭10人、中学校19校中、校長5人、教頭6人。 当課が担当する指定校の選出や会議の代表者選出の際に、管理職の男女比のバランス等に偏りがないようにした。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			管理職に占める女性の割合（小学校44校、中学校19校） ※管理職の任免は任命権者である大阪府教育委員会が行う。					
														R3	R4	R5	R6	R7
													小学校校長	20.5%	22.7%	27.2%		
													小学校教頭	20.5%	27.3%	22.7%		
													中学校校長	21.1%	21.1%	26.3%		
													中学校教頭	26.3%	31.6%	31.5%		

(3) 男女共同参画の視点に立ったメディア・リテラシーの向上

				R 5 年度の取組状況				⑥参考：達成状況の推移					⑨関連指標																																																				
施策番号	①取組名	②取組内容	③所管課	④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用																																																				
9	保育士に対する研修	人権尊重を基盤とした男女平等への理解を深めるため、保育士に対する研修を行う。	私立保育幼稚園課	保育の質の向上とどの子ども等しく大事にされる保育をめざすよう努める。公立保育幼稚園課と「枚方市就学前人権研修」を実施した。私立保育所（園）・私立認定こども園・私立幼稚園・私立小規模保育事業実施施設・認可外保育施設合わせて18施設39名が参加。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎																																																							
			公立保育幼稚園課	保育の質の向上とどの子ども等しく大事にされる保育をめざすよう努める。私立保育幼稚園課と「枚方市就学前人権研修」等の研修を実施した。 （公立保育所等17施設、ひらかた子ども発達支援センターが参加）	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			<table><tr><th colspan="6">事務事業実績測定指標</th></tr><tr><td colspan="2">事務事業名称</td><td colspan="4">保育士等研修事業</td></tr><tr><td colspan="2">所管課</td><td colspan="4">公立保育幼稚園課</td></tr><tr><td colspan="2">指標種類</td><td colspan="4">増加することが良いとされる指標</td></tr><tr><td colspan="2">指標説明</td><td colspan="4">研修に参加した延べ人数</td></tr><tr><td colspan="2">目標</td><td colspan="4">実績</td></tr><tr><td>(見込み)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>300人</td><td>574人</td><td>675人</td><td>524人</td><td></td><td></td></tr></table>					事務事業実績測定指標						事務事業名称		保育士等研修事業				所管課		公立保育幼稚園課				指標種類		増加することが良いとされる指標				指標説明		研修に参加した延べ人数				目標		実績				(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7	300人	574人	675人	524人		
			事務事業実績測定指標																																																														
事務事業名称		保育士等研修事業																																																															
所管課		公立保育幼稚園課																																																															
指標種類		増加することが良いとされる指標																																																															
指標説明		研修に参加した延べ人数																																																															
目標		実績																																																															
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7																																																												
300人	574人	675人	524人																																																														
市立ひらかた子ども発達支援センター	保育の質の向上とどの子ども等しく大事にされる保育をめざすよう努める。 「枚方市就学前人権研修」等の研修に参加した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎																																																										
10	教職員に対する研修	人権尊重を基盤とした男女平等への理解を深めるため、教職員に対する研修を行う。また、人権教育リーフレットや人権学習のための資料集DVD等を配布・活用し、人権意識の向上を図る。	支援教育課	学校園で幼児・児童・生徒の指導に活かせるよう、教職員を対象として、枚方市人権教育研究協議会と連携しながら「仲間づくり研修」等、人権教育の研修会を行った。 また、教職員が、大阪府人権教育研究協議会等が主催する「ジェンダー平等教育」等研修会に参加した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			<table><tr><th colspan="6">事務事業実績測定指標</th></tr><tr><td colspan="2">事務事業名称</td><td colspan="4">人権教育推進事業</td></tr><tr><td colspan="2">所管課</td><td colspan="4">支援教育課</td></tr><tr><td colspan="2">指標種類</td><td colspan="4">増加することが良いとされる指標</td></tr><tr><td colspan="2">指標説明</td><td colspan="4">大阪府人権教育研究協議会等による研修等の参加教職員数</td></tr><tr><td colspan="2">目標</td><td colspan="4">実績</td></tr><tr><td>(見込み)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>570人</td><td>564人</td><td>486人</td><td>435人</td><td></td><td></td></tr></table>					事務事業実績測定指標						事務事業名称		人権教育推進事業				所管課		支援教育課				指標種類		増加することが良いとされる指標				指標説明		大阪府人権教育研究協議会等による研修等の参加教職員数				目標		実績				(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7	570人	564人	486人	435人		
			事務事業実績測定指標																																																														
			事務事業名称		人権教育推進事業																																																												
所管課		支援教育課																																																															
指標種類		増加することが良いとされる指標																																																															
指標説明		大阪府人権教育研究協議会等による研修等の参加教職員数																																																															
目標		実績																																																															
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7																																																												
570人	564人	486人	435人																																																														
教育研修課	小中学校初任者研修等において人権に関する研修を実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			<table><tr><th colspan="6">事務事業実績測定指標</th></tr><tr><td colspan="2">事務事業名称</td><td colspan="4">枚方市教職員育成事業</td></tr><tr><td colspan="2">所管課</td><td colspan="4">教育研修課</td></tr><tr><td colspan="2">指標種類</td><td colspan="4">増加することが良いとされる指標</td></tr><tr><td colspan="2">指標説明</td><td colspan="4">会議等で伝達したり授業等で実践した割合【算出式：研修内容を伝達・実践した受講者/全受講者×100】</td></tr><tr><td colspan="2">目標</td><td colspan="4">実績</td></tr><tr><td>(見込み)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>100%</td><td>96.70%</td><td>100%</td><td>96.1%</td><td></td><td></td></tr></table>					事務事業実績測定指標						事務事業名称		枚方市教職員育成事業				所管課		教育研修課				指標種類		増加することが良いとされる指標				指標説明		会議等で伝達したり授業等で実践した割合【算出式：研修内容を伝達・実践した受講者/全受講者×100】				目標		実績				(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7	100%	96.70%	100%	96.1%					
事務事業実績測定指標																																																																	
事務事業名称		枚方市教職員育成事業																																																															
所管課		教育研修課																																																															
指標種類		増加することが良いとされる指標																																																															
指標説明		会議等で伝達したり授業等で実践した割合【算出式：研修内容を伝達・実践した受講者/全受講者×100】																																																															
目標		実績																																																															
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7																																																												
100%	96.70%	100%	96.1%																																																														

11	家庭教育支援事業（29に再掲）	家庭は子どもの人格形成にとって大きな影響を及ぼすため、親のあり方・子育てに関する講座や、子育て中の親同士の交流を促進する事業の実施などを通して、男女共同参画の視点に立った家庭教育を支援する。	教育政策課	●「子育て応援！親学び講座」（参加者数9名） ●思春期セミナー「思春期のいまどきネットトラブル事情～うちの子、大丈夫？後払い決済から闇バイトまで～」（参加者数23名） ●親子で楽しもう！LED工作教室～あかりについて楽しく学ぼう～（参加者数8組17名） ●春休み 親子で楽しむ木工リサイクル～木片を使って、世界にひとつのオブジェ作り～（参加者数10組28名） ●教育講演会「これから生きる子どもたちにできること～時代を見すえ、備える～」（枚方市PTA協議会との共催事業）（参加者数109名） ●親を考えるセミナー「家族みんなで子どもとの時間を楽しもう」（参加者数64名）	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			事務事業実績測定指標					
				事務事業名称		社会教育活動推進事業												
所管課		教育政策課																
指標種類		増加することが良いとされる指標																
指標説明		社会教育活動推進事業の参加者に対するアンケート結果（満足度）【算出式：アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した人数／アンケート回答者数×100】																
目標		実績																
(見込み)		R3	R4	R5	R6	R7												
80%		91.99%	93.23%	92.04%														

12	メディア・リテラシーの向上に関する啓発	啓発講座や学校教育を通じて、メディア・リテラシーの育成に努める。	人権政策課	中学校でのDV予防教育プログラム（10校参加）においてインターネットやSNSを利用した性被害防止について啓発を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎								
			支援教育課	消費生活センターとの共催で、大阪府教育委員会ネット対応アドバイザーによる「情報リテラシー講演会」動画(小学校低学年・高学年、中学生、保護者、教職員)を各学校へ配信し、オンデマンド研修を実施することで、メディア・リテラシーの向上を図った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			事務事業実績測定指標					
事務事業名称		人権教育推進事業																
所管課		支援教育課																
指標種類		増加することが良いとされる指標																
指標説明		大阪府人権教育研究協議会等による研修等の参加教職員数																
目標		実績																
(見込み)		R3	R4	R5	R6	R7												
570人		564人	486人	435人														
			消費生活センター	子どものスマホ利用率は年々増加傾向にあり、SNS等のネットサービスを利用することで、架空請求をはじめ、いじめや犯罪に巻き込まれる等、様々な危険性が懸念されている。こうした被害にあわないためには情報モラルや情報リテラシーといった教育が必要不可欠である。 このため、消費生活センターでは、地方消費者行政強化・推進事業補助金を活用して、義務教育段階の子供たちに対する消費者支援教育を実施している。 R3年度から、市内すべての小中学校で情報リテラシー講演会を受講できるよう、動画配信方式に改め、22,249人が参加した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								

13	男女共同参画の視点に立った表現の推進	市の情報発信を、男女共同参画の視点から確認し、性別に基づく固定的な役割分担意識にとらわれない表現を推進する。	全課	広報、ホームページへの情報掲載やポスター、パンフレット、説明会資料などの発行物の作成等、本市の情報発信において、内容に性差別や固定的な性別役割分担を助長する文章表現や写真・イラストなどを使用しないよう全課において点検を行った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			
----	--------------------	--	----	---	---------	--	---------	---	---	---	--	--	--

(4) 性の多様性への理解促進

				R5年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移						⑨関連指標					
施策番号	①取組名	②取組内容	③所管課	④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用						
14	性の多様性に関する理解の促進	市民や事業者等を対象に、リーフレットの活用、講座の実施などを通して、性の多様性に関する理解を促進する。	人権政策課	希望する市内事業者に事業者向け啓発リーフレット「ありのままにじぶんらしく働く」を配布、市立小学校6年生に対して啓発リーフレット「ありのままにじぶんらしく」を配布し、職場や学校における、性的マイノリティの理解促進を図った。市民を対象に、同性婚における家族の葛藤と理解に至る過程を描く映画「泣いたり笑ったり」（参加者226人）の上映会を実施し、性的マイノリティ当事者が抱える生きづらさや一人ひとりができることについて啓発を行った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			事務事業実績測定指標						
													事務事業名称		性的マイノリティ支援事業				
													所管課		人権政策課				
													指標種類		増加することが良いとされる指標				
													指標説明		LGBTなどの性的マイノリティに対する理解が深まったと答えた人の割合【算出式：アンケートにより理解が深まったと回答した人数/アンケート回答者数×100】				
													目標		実績				
													（見込み）		R3	R4	R5	R6	R7
													90%		85%	98.8%	78.20%		
15	性的マイノリティ当事者に寄り添った支援の推進	相談事業や交流会の実施、また学校における児童・生徒への対応など、性的マイノリティ当事者の立場に立った支援策を推進する。	人権政策課	LGBT電話相談（28件）、当事者や支援者によるコミュニティスペース「ひらかた・にじいろスペース」（参加者54人）を継続的に実施した。一方または双方が性的マイノリティであるカップルが、互いを人生のパートナーとすることを宣誓した事実を公に証明する「枚方市パートナーシップ宣誓制度」において、制度利用者の府内での住所異動に伴う手続の負担軽減を図るため、同様の制度を実施している府及び府内10市とパートナーシップ宣誓制度の自治体間連携協定を締結した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎									
			支援教育課	性の多様性の観点から、中学校の制服はどの生徒もズボン、スカートともに選択できるようになっている。また、各学校では、性的マイノリティとされる児童・生徒が一定数在籍していることを前提に、すべての子どもが安心して学校生活を遅れるよう取り組みを進めた。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎									
16	市職員の理解促進及び当事者への適切な対応	市職員への研修を実施し、性の多様性について理解促進を図るとともに、各職場において「枚方市職員のための性の多様性への理解促進に向けたハンドブック」などを活用し、性的マイノリティ当事者への適切な対応を行う。	全課	新任課長及び新入職員に対して性的マイノリティについて研修を行った。市民対応時や、事業の企画や制度の構築時には、SOGI（性的指向、性自認）を理解し、尊重する姿勢を持ち実施しているかどうか全課で点検を行った。令和5年（2023年）統一地方選挙及び市長選挙において、トランスジェンダーの方への適切な対応に向けたマニュアルを選挙事務従事者に配布し、啓発に努めた。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎									

17	業務委託における総合評価 落札方式の入札を適用することによる、性の多様性への理解促進に向けた事業者への啓発	市が発注する業務委託の一部において、委託業務総合評価一般競争入札の落札者決定基準に、性的マイノリティ支援に関する取り組みなど性の多様性への理解促進につながる項目を設定して評価を行う。	契約検査課	市が発注する業務委託の一部において、委託業務総合評価一般競争入札の落札者決定基準に、性的マイノリティ支援に関する取組など性の多様性への理解促進につながる項目を設定して、評価を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			
----	--	---	-------	---	-------	--	---------	---	---	---	--	--	--

基本目標 2 男女共同参画を阻害する暴力の根絶

(1) 男女共同参画を阻害する暴力を許さない社会づくり

				R 5 年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標					
施策番号	①取組名	②取組内容	③所管課	④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用					
18	DV等の男女共同参画を阻害する暴力の防止啓発事業 (30に再掲)	DV、性犯罪、ストーカー行為、セクシュアルハラスメントなどの暴力防止に向け、講演会や講座などを通して、被害と加害の実態に関する理解を深めるとともに、DV防止法をはじめとする、関係法令などの周知を図り、男女共同参画を阻害する暴力の防止を促進する。	人権政策課	DV被害者を対象にしたDV被害から回復するための教育プログラム「わがままステーション」（参加人数19人）を実施。また、講座「働く女性のためのコミュニケーション講座～自信をもって伝えてみよう～」(参加者12人)、職員対象研修(参加者34人)を開催した。DV・モラハラ予防啓発を目的に作成した冊子「夫の言い分 妻の言い分 このズレどうしたらいいの？」を乳幼児健診時に配布した。SNS・HP・広報でDV相談窓口を周知した。「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、岡東中央公園のカリヨンのパープルライトアップを行い市民に対して女性に対する暴力根絶の啓発を行った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	DV防止事業				
													所管課	人権政策課				
													指標種類	減少することが良いとされる指標				
													指標説明	「暴力は受ける側にも問題や原因があると思ふ」と答える中学生の割合【算出式：アンケートにより暴力は受ける側にも問題や原因があると思うと回答した人数/アンケート回答者数×100】				
													目標 (見込み)	実績				
														R3	R4	R5	R6	R7
													50%	53%	50%	53%		
19	医療、保健関係者及び保育、教育関係者への周知	枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議 などを通じて、DV防止やDV相談窓口、被害者への配慮について、医療、保健関係者及び保育、教育関係者への周知を図る。	人権政策課	外部機関及び市内関係課で構成する枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議（1回）、研修会（1回）を開催し、構成員である医療、保健関係者及び保育、教育関係者への周知を図った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○								
20	児童虐待防止啓発	児童虐待に係る関係機関の連携を深めるとともに、児童虐待防止啓発のポスター、チラシ等の配布や市民向けの研修会を開催し、面前DVや子どもに対する性的暴力等の児童虐待防止や、被害を受けた子どもの意見を丁寧にくみ取り支援できるよう周知を図る。	まるっとこどもセンター	時には悩んだりストレスになることもある子育てを一人で悩まないよう、また虐待かなど心配された場合の連絡先などを広報および市ホームページ等で周知し、愛の鞭ゼロ作戦の内容を引用したコラムなどを作成し、SNS（フェイスブックやツイッター）を活用し啓発を行った。 市長をはじめ枚方市子どもの育ち見守り連携会議児童虐待防止部会の構成員による枚方市駅コンコース等で、リーフレット等啓発物品の配布を実施した。 また、各関係機関に「児童虐待防止推進月間」啓発ポスターを配布し、市民への周知をしていただくよう依頼を行った。 さらに、恒常的な啓発の推進のため、キャッチコピー「みんなで守ろう こどもの笑顔」と、オレンジリボンを掲げたたこぼしくんをデザインした横断幕を11月1日から1か月間、市役所本館の外壁に掲示した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								

21	若年層を含む様々な性暴力の防止啓発	SNSの広がり等による若年層の性被害を含めた、性犯罪・性暴力の防止啓発、相談窓口の周知に取り組む。	人権政策課	中学校でのDV予防教育プログラム（10校参加）においてインターネットやSNSを利用した性被害防止について啓発を行った。 HP・SNSで若年層の性暴力防止及び相談窓口の周知を行った。デートDV啓発カードを刷新し、市内高等学校の希望校（5校、4086校）に配布してチャットでも相談できるDV相談+の周知に努めた。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎									
22	ハラスメントの防止に関する取り組み(67に再掲)	庁内、学校、事業所等に対してセクシュアルハラスメントやマタニティハラスメントをはじめ、あらゆるハラスメントに対する防止啓発や対応策の確立に向けた支援を行う。	人権政策課	「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、岡東中央公園のカリヨンのパープルライトアップを行い、セクハラなど女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けて市民への啓発を行った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○									
			コンプライアンス 推進課	・しおりの配布及びグループウェアへの掲載により、ハラスメント防止についての啓発及び「苦情相談制度」の周知に努めた。 ・入職3・4・5・9・10年目の若年層を対象とするハラスメント防止研修を実施した。 ・課長・課長代理を対象に管理職向けのハラスメント防止研修を実施した。 ・任期付職員及び会計年度任用職員、臨時職員への啓発として動画研修を行った。 ・ハラスメント苦情相談員の配置及び外部相談窓口の設置により、ハラスメント苦情相談を受け付け、解決に向けた対応を行った。 ・全職員を対象とするハラスメント実態調査を実施した。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			事務事業実績測定指標						
													事務事業名称		ハラスメント防止対策・内部通報制度事務				
													所管課		コンプライアンス推進課				
													指標種類		増加することが良いとされる指標				
													指標説明		ハラスメント防止研修参加人数				
													目標		実績				
													(見込み)		R3	R4	R5	R6	R7
													400人		326人	390人	726人		
			教職員課	全学校にセクシュアル・ハラスメント相談窓口を設置し、教職員への周知を行った。 相談窓口での対応者について、男性のみ、女性のみとならないよう複数で対応できるよう指示した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎									

(2) 暴力の予防に向けた子どもの頃からの啓発の推進

				R5年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標				
施策番号	①取組名	②取組内容	③所管課	④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用				
23	自尊感情、他尊感情を育む保育	人権尊重を基盤とした、互いを大切にする態度や人格の育成などを図るための保育を推進する。	公立保育幼稚園課	一人一人の子どもが周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自己肯定する気持ちが育まれていく保育を行っている。 また、保育を実践できるよう「乳幼児の発達を学ぶ」というテーマで保育従事者に研修を実施した。（公立保育所等17施設、ひらかた子ども発達支援センター、私立保育所等19施設が参加）	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎							
			市立ひらかた子ども発達支援センター	一人一人の子どもが周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自己肯定する気持ちが育まれていく保育を行っている。 また、保育を実践できるよう「乳幼児の発達を学ぶ」というテーマで保育従事者が研修に参加した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎							
24	自尊感情、他尊感情を育む教育	市の人権教育基本方針に基づき、学校園で人権教育推進計画を策定し、人権尊重を基盤とした、互いを大切にする態度や人格の育成などを目指す人権教育を推進する。	支援教育課	学校園に本市の「学校園の管理運営に関する指針」を通して、人権教育の取組の推進について周知した。 また、全学校園で人権教育推進計画を策定し、教職員の指導力向上のための校内研修の充実を図った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			事務事業実績測定指標				
													事務事業名称		人権教育推進事業		
													所管課		支援教育課		
													指標種類		増加することが良いとされる指標		
													指標説明		大阪府人権教育研究協議会等による研修等の参加教職員数		
													目標		実績		
													(見込み)		R3	R4	R5
570人	564人	486人	435人														
25	DV予防教育	男女が対等な存在であるという意識の形成や、暴力を伴わない人間関係の構築に向けて、人権尊重を基盤としたDV予防教育を行う。	人権政策課	DVの被害者も加害者も生み出さないために、小学校4年生を対象としたDV予防教育プログラム「わたしもぼくも☆みんな生き生き」（10校、568人）、中学校を対象にデートDV予防教育プログラム（14校、2425人）を実施した。また、小学校実施校においては放課後に教職員研修（8校、213人）を実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎							
			支援教育課	男女共同参画社会の実現に向け、性別にかかわらず個々の違いを認め合い、自他共に尊重しながら問題を解決する力を身につける取組として「DV予防教育プログラム」を小中学校に周知した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎							

26	デートDV防止啓発	若い世代のデートＤＶに関する理解を促進するため、教育機関などと連携し、啓発を進めるとともに、相談窓口の周知を図る。	人権政策課	デートDV防止案内カードを刷新し、市内高等学校の希望校（５校、4086枚）に配布した。また、デートDV防止ハンドブック「あなたと私の心とからだを大切にするために」を市内中学校の希望校（18校、3594冊）に配布した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎									
			支援教育課	デートＤＶ防止ハンドブックを希望中学校に配付し、デートＤＶに関する理解の促進、相談窓口の周知を図った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎									
27	保育士に対する研修	男女共同参画を阻害する暴力防止への理解を深めるため、保育士に対する研修を行う。	公立保育幼稚園課	男女共同参画を阻害する暴力防止への理解を深めるため、児童虐待問題連絡会議研修、実務者研修を実施した。（公立保育幼稚園課、市立ひらかた子ども発達支援センター）	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎									
			市立ひらかた子ども発達支援センター	男女共同参画を阻害する暴力防止への理解を深めるため、児童虐待問題連絡会議研修、実務者研修を実施した。（公立保育幼稚園課、市立ひらかた子ども発達支援センター）	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎									
28	教職員に対する研修	男女共同参画を阻害する暴力防止への理解を深めるため、教職員に対する研修を行う。	教育研修課	小中学校初任者研修等において人権に関する研修を実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	○			事務事業実績測定指標						
													事務事業名称		枚方市教職員育成事業				
													所管課		教育研修課				
													指標種類		増加することが良いとされる指標				
													指標説明		会議等で伝達したり授業等で実践した割合【算出式：研修内容を伝達・実践した受講者/全受講者×100】				
													目標		実績				
													(見込み)		R3	R4	R5	R6	R7
															100%	100%	97.10%	96.1%	

29	家庭教育支援事業（11の再掲）	家庭は子どもの人格形成にとって大きな影響を及ぼすため、親のあり方・子育てに関する講座や、子育て中の親同士の交流を促進する事業の実施などを通して、男女共同参画の視点に立った家庭教育を支援する。	教育政策課	●「子育て応援！親学び講座」（参加者数9名） ●思春期セミナー「思春期のいまどきネットトラブル事情～うちの子、大丈夫？後払い決済から間バイトまで～」（参加者数23名） ●親子で楽しもう！LED工作教室～あかりについて楽しく学ぼう～（参加者数8組17名） ●春休み 親子で楽しむ木工リサイクル～木片を使って、世界にひとつのオブジェ作り～（参加者数10組28名） ●教育講演会「これから生きる子どもたちにできること～時代を見すえ、備える～」（枚方市PTA協議会との共催事業）（参加者数109名） ●親を考えるセミナー「家族みんなで子どもとの時間を楽しもう」（参加者数64名）	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎		事務事業実績測定指標						
												事務事業名称		社会教育活動推進事業				
												所管課		教育政策課				
												指標種類		増加することが良いとされる指標				
												指標説明		社会教育活動推進事業の参加者に対するアンケート結果（満足度）【算出式：アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した人数／アンケート回答者数×100】				
												目標		実績				
												（見込み）		R3	R4	R5	R6	R7
												80%		91.99%	93.23%	92.04%		
30	DV等の男女共同参画を阻害する暴力の防止啓発事業（18の再掲）	DV、性犯罪、ストーカー行為、セクシュアルハラスメントなどの暴力防止に向け、講演会や講座などを通して、被害と加害の実態に関する理解を深めるとともに、DV防止法をはじめとする、関係法令などの周知を図り、男女共同参画を阻害する暴力の防止を促進する。	人権政策課	DV被害者を対象にしたDV被害から回復するための教育プログラム「わがままステーション」（参加人数19人）を実施。また、講座「働く女性のためのコミュニケーション講座～自信をもって伝えてみよう～」（参加者12人）、職員対象研修（参加者34人）を開催した。DV・モラハラ予防啓発を目的に作成した冊子「夫の言い分 妻の言い分 このズレどうしたらいいの？」を乳幼児健診時に配布した。SNS・HP・広報でDV相談窓口を周知した。「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、岡東中央公園のカリヨンのパープルライトアップを行い市民に対して女性に対する暴力根絶の啓発を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎		事務事業実績測定指標						
												事務事業名称		DV防止事業				
												所管課		人権政策課				
												指標種類		減少することが良いとされる指標				
												指標説明		「暴力は受ける側にも問題や原因があると思う」と答える中学生の割合【算出式：アンケートにより暴力は受ける側にも問題や原因があると思うと回答した人数／アンケート回答者数×100】				
												目標		実績				
												（見込み）		R3	R4	R5	R6	R7
												50%		53%	50%	52%		

(3) 被害者支援体制の充実

施策 番号	①取組名	②取組内容	③所管課	R5年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標			
				④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用			
31	被害者支援体制の充実	早期の発見、相談から安全確保、自立支援まで被害者への切れ目のない支援を行うため、DV被害者の専門相談窓口である枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」を中心として、大阪府女性相談センターや警察署をはじめとする関係機関及び市の関係部署などと連携し、被害者の人権尊重と安全確保を最優先に支援を行う。特に児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待が複合する場合には、警察や関係部署との連絡調整を緊密に行う。また、各機関・部署がDV被害者に対して適切に対応するため、DV対応マニュアルを整備し活用する。	人権政策課	枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」において、電話相談1195件、面接相談550件を実施した。府女性相談センター、枚方警察署、交野警察署などの外部機関及び庁内関係課で構成する枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議を開催し（1回、研修1回）、被害者支援に関する情報共有、連携強化を図った。また、児童虐待、障害者虐待、高齢者虐待が複合する場合には担当課との連携を図った。また安全確保については、警察署と緊密に連携を取った。DV対応マニュアルについては「ドメスティック・バイオレンス被害者支援のてびき」を作成し、関係機関・部署において周知を図った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎						
32	相談窓口のPR	被害者が安心して相談できるよう、相談窓口の一層の周知を図る。	人権政策課	DV相談案内カード、デートDV相談案内カードを公共施設に配布した。潜在的なDV被害者の救済につながるよう、広報・HP・SNSを使って相談窓口の周知を図った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	◎	○	○						
33	外国語によるDV相談情報の提供	外国語によるDV相談情報を提供するとともに、関係部署と連携し、日本語でのコミュニケーションが取りにくい外国人市民等が安心して相談できる体制づくりを進める。	人権政策課	市内在住の外国人へのDV被害者支援対策として、「外国人のための枚方生活ガイド」に相談窓口を掲載した。また、10か国語対応の相談窓口であるDV相談プラスについて、広報・HP・SNSで周知した。	○（概ね達成）		推進・現状維持	◎	○	○						
34	スクールカウンセラー配置事業	中学校における相談体制の充実を図るため、スクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者の悩みや課題の解決に資する。その際、面前DVや子どもへの性暴力等の早期発見に努める。また、中学校区の小学校に対しても、派遣を含めた柔軟な取り組みを展開する。	児童生徒課	府の事業として、全中学校と6小学校にスクールカウンセラーを配置し、年間35回の派遣を行い、児童・生徒、保護者、教職員の悩みや課題の解決を図った。 また、小学校に配置している「心の教室相談員」との中学校区における連絡会も実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			事務事業実績測定指標 事務事業名称 スクールカウンセラー配置事業 所管課 児童生徒課 指標種類 減少することが良いとされる指標 指標説明 スクールカウンセラーによる相談対応件数 目標 実績 (見込み) R3 R4 R5 R6 R7 10,500件 6,699件 7936件 7788件			
35	心の教室相談員配置事業	小学校の相談体制の充実を図るため、「心の教室相談員」を配置し、児童や保護者の悩みや課題の解決に資する。その際、面前DVや子どもへの性暴力の早期発見に努める。	児童生徒課	全小学校に、心の教室相談員を配置し、1校年間35回の派遣を行った。9月に希望調査を行い、最大40回（+5回）の派遣を行い、児童、保護者、教職員の悩みや課題の解決を図った。 また、府の事業として中学校に配置しているスクールカウンセラーとの中学校区における連絡会も実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			事務事業実績測定指標 事務事業名称 「心の教室相談員」配置事業 所管課 児童生徒課 指標種類 増加することが良いとされる指標 指標説明 心の教室相談員の年間派遣回数 目標 実績 (見込み) R3 R4 R5 R6 R7 1,620回 1,657回 1622件 1621件			

36	子どもの笑顔守るコール事業	幼児、児童、生徒が抱える諸問題（虐待被害を含む）の解決や早期発見、早期対応を図るため、総合電話窓口「子どもの笑顔守るコール」（「いじめ専用ホットライン」と「教育安心ホットライン」）を設置し、電話による教育相談を実施する。	児童生徒課	幼児・児童・生徒に関する総合電話窓口「子どもの笑顔守るコール」のチラシを作成し、学校園を通じてタブレットに周知した。臨床心理士等の資格を持った電話相談員を（平日9：00～17：00）配置し、電話による教育相談を実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		教育相談事業			
													所管課		児童生徒課			
													指標種類		減少することが良いとされる指標			
													指標説明		子どもの笑顔守るコール相談件数			
													目標		実績			
													（見込み）		R3	R4	R5	R6
400件	386件	468件	258件															
37	家庭児童相談事業	18歳までの子どもと家族の様々な相談に、子ども相談課の専門相談員が対応し、カウンセリングやプレイセラピーなどを行う。児童虐待事案については、必要に応じて関係機関と連携する。	まるっとこどもセンター	保護者へのカウンセリングや助言、子どもへのプレイセラピーや心理検査等をおして、子どもとその家庭等の様々な相談に応じた。R5年度延べ相談件数7,257件。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		家庭児童相談業務			
													所管課		まるっとこどもセンター			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		家庭における安定した養育ができることにより、適正な親子関係を育み、相談終了となった件数。			
													目標		実績			
													（見込み）		R3	R4	R5	R6
167件	147件	270件	134件															
38	DV被害者支援者研修	被害者の二次被害防止を含め、DV被害者に対して適切に対応するため、関係部署の職員を対象とした研修を実施する。	人権政策課	枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議構成員及び市関係課職員を対象とし「DV支援における各機関との連携・協働について」（34人）を実施した。DV予防教育プログラム実施校（8校）において、教職員を対象とした研修『「わたしもぼくもみんな生き生き」互いの「こころ」と「からだ」を大切にするために』（213人）を実施した。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○								
39	緊急避難支援事業	緊急に保護が必要な被害者の生命と安全を守るため、大阪府や警察と連携して緊急一時保護を行う際に、必要に応じて同行支援を行うとともに、交通費等の支援を行う	人権政策課	一時保護施設移送件数（5件）	○（概ね達成）		推進・現状維持	◎	○	○								

[illegible]

基本目標3 仕事と生活のあり方をさまざまに選択できる社会づくり

(1) 子育てと介護への支援

				R 5 年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標					
施策番号	①取組名	②取組内容	③所管課	④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用					
42	通常保育事業	仕事と子育ての両立支援として、保育サービスの量的拡大は緊急課題であり、認可保育所や幼保連携型認定こども園の定員増を基本として今後も待機児童の解消を図る。	私立保育幼稚園課	認定こども園、私立小規模保育事業実施施設の定員増により、R5年度に必要な定員増の取り組みを進めることができた。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		私立保育所等施設整備補助事業			
													所管課		私立保育幼稚園課			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		施設整備に伴う増加定員数			
													目標	実績				
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
													4 0 人	40人	75人	93人		
43	一時預かり事業	保護者の入院、傷病等に伴う緊急・一時的な保育需要及び育児疲れの解消等を目的とした利用希望に応えるとともに、短時間就労により、保護者等による保育が困難な児童の受け入れを行い、保育所（園）等への入所を待つ待機児童の解消の一助とする。また、認定こども園や公立幼稚園での在園児（1号）を対象とした預かり保育を行う。	私立保育幼稚園課	保護者の入院、傷病等に伴う緊急・一時的な保育需要及び育児疲れの解消等を目的とした利用希望に応えるとともに、短時間就労により、保護者等による保育が困難な児童の受け入れを行い、保育所（園）等への入所を待つ待機児童の解消の一助とした。2日分が無料となるリフレッシュ券により、リフレッシュ目的でも使用しやすい環境を整えた。	○（概ね達成）	引き続きリフレッシュ目的で使用する場合に使えるリフレッシュ券に関する情報発信を行う。	推進・現状維持	△	△	○			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		一時預かり補助事業			
													所管課		私立保育幼稚園課			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		一時預かり事業延べ利用者数 （第2期子ども・子育て支援事業計画の目標事業量）			
													目標	実績				
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
													24,489人	14,420人	18,964人	20,262人		
			公立保育幼稚園課	市立幼稚園6園において、教育課程に係る教育時間外の教育活動として、保育指導員・保育補助員を雇用し、平日の午前7時～9時及び午後2時～7時、土曜日、夏休み（7月21日～8月31日）、冬休みの一部（12月23日～12月28日及び1月4日～1月8日）、春休みの一部（3月23日～3月31日）の午前7時～午後7時まで預かり保育を実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		一時預かり補助事業（幼稚園型）			
													所管課		私立保育幼稚園課			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		一時預かり事業延べ利用者数 （第2期子ども・子育て支援事業計画の目標事業量）			
													目標	実績				
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
													211,605人	207,315人	212,838人	229,198人		
	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）	保護者の疾病、出産、出張など家庭での子どもの養育が一時的に困難な場合や、育児疲れ等のリフレッシュのために一時的に子どもを施設において預かり養育、保護を行う。	まるっとこどもセンター	R5年度 ショートステイ 利用件数 693 延利用日数 919 トワイライトステイ 利用件数 1 延利用日数 2	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		子育て短期支援事業			
													所管課		まるっとこどもセンター			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		保護者がショートステイ・トワイライトステイの利用申し込みをし、利用できた割合 【算出式：利用した延べ日数/申し出のべ日数×100】			
													目標	実績				
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
													100%	100%	100%	100%		

45	低年齢児保育事業	産休、育休明け保育の充実を図り、仕事と子育ての両立を支援するため、満3歳未満児の定員枠の拡大により、全定員の41%以上の受け入れ枠の確保を目指す取り組みや小規模保育事業の新設を行う。	私立保育幼稚園課	3歳未満児に対する低年齢児保育を実施した。 令和5年度実績 0～2歳児延べ入所児童数 公立5715人 私立37436人 合計43151人	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			
46	延長保育事業	勤務形態の多様化による延長保育の需要に対応するため、保育所（園）等において、午後7時までの延長保育を行い、一部の私立保育所（園）では、午後7時を超える延長保育にも対応する。	私立保育幼稚園課	私立保育所（園）44園、私立認定こども園6園、私立小規模保育事業実施施設9園において午後6時以降の延長保育を実施した。 また、夜間保育を実施している私立認定こども園1園では、午前7時から午前11時までの延長保育を実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			
			公立保育幼稚園課	公立保育所8か所及び小規模保育施設5か所において、午後7時までの延長保育を実施した。 年間実利用児数（公立）1048人	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			
47	夜間・休日保育事業	勤務形態の多様化に対応するため、保護者の就労などにより夜間の保育を必要とする児童に対する夜間保育、また、日曜、祝日など休日の保育ニーズに対応する休日保育を行う。	私立保育幼稚園課	日曜、祝日など休日の保育ニーズに対応する休日保育の提供を実施。R5年度利用児童数は378人、保育日数は70日。 勤務形態の多様化に対応するため、明善第貳めぐみ園で保護者の就労などにより夜間保育（～22時）を必要とする児童に対する夜間保育を行った。R5年度利用児童数は318人。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			

48	病児保育事業	保育所（園）や認定こども園等に通所中の児童等が 集団保育の困難な期間、小児科のある医療機関で当 該児童等の保育と看護を行う。また、保育所（園） や認定こども園において、体調が悪くなった児童に 対する保育体制の充実を図る。	私立保育幼稚園課	市立ひらかた病院（公立）1箇所、診療所 （民間）3箇所において、病児対応型の病 児保育を実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	△	△	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	病児保育事業				
													所管課	私立保育幼稚園課				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
49	ファミリーサポートセン ター事業	育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者 が相互援助活動を行うファミリーサポートセンター において、会員組織の活動をより一層推進するた め、会員増に努めるとともに、フォローアップ講座 の実施などにより活動しやすい体制を作る。	私立保育幼稚園課	【利用会員数】 （R4年度） 依頼会員 2,713人 提供会員 358人 両方会員 65人 計 3,136人 （R5年度） 依頼会員 2,998人 提供会員 372人 両方会員 75人 計 3,445人	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			指標説明	病児保育室の利用者人数 （第2期子ども・子育て支援事業計画の目標事業量）				
													目標	実績				
													（見込み）	R3	R4	R5	R6	R7
													3,672人	2,570人	2,695人	3,698人		
50	保育サービス利用者支援事 業	個々の保育ニーズへのきめ細かな対応を目指し、保 育コンシェルジュを配置するなど、相談体制を充実 する。	保育幼稚園入園課	保育コンシェルジュを配置し、個々のニー ズと保育サービスを適切に結びつける等、 保護者からの様々な相談に対応した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								
51	放課後児童健全育成事業	留守家庭児童会室において、保護者の就労等により 保育を必要とする小学生児童の放課後の遊び、生活 の場を提供し、その健全育成を図ることを目的に実 施する。	放課後子ども課	保護者の就労、病気等の理由により放課後 の保育が必要な小学1年生から6年生の児 童の豊かで安全な生活の確保し、併せて、 保護者が働くための環境整備に資するた め、市立全44小学校内の専用施設等で実施 した。 【留守家庭児童会室】 入室児童数：4,637人 待機児童数：6人（R6.4.1）	◎（達成）		推進・現状維持	△	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	留守家庭児童会室運営事業				
													所管課	放課後子ども課				
													指標種類	減少することが良いとされる指標				
													指標説明	待機児童数（1月末時点）				
													目標	実績				
													（見込み）	R3	R4	R5	R6	R7
													0人	94人	0人	0人		

52	乳児家庭全戸訪問事業	生後４か月までの乳児のいる全家庭の訪問を行い、育児に関する不安などの相談、情報提供、乳児とその保護者の心身の状況と養育環境の把握などを行う。	私立保育幼稚園課	令和５年度（2023年度）の訪問件数は、192件であった。（実訪問率64.60％） ※令和５年２月以降、当該事業の対象児童の選定基準が変更された。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		乳児家庭全戸訪問事業			
													所管課		私立保育幼稚園課			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		訪問対象者に対する面着応着者の割合			
													目標		実績			
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
87.03%		86.60%	85.50%	64.60%														
53	地域子育て支援事業	私立保育所（園）、認定こども園が保育を通じて蓄積している子どもの育ちや子育てに関する知識、技術などを生かし、地域の子育て家庭等に対し各種事業の実施を通じて必要な相談、指導、助言や気になる子どもへの支援などを行い、地域に密着した園として保育、子育て支援機能の一層の充実を図る。	私立保育幼稚園課	私立保育所（園）44園、認定こども園５園において事業を実施し、地域の子育て支援の充実を図った。 ※本事業については、「子ども・子育て支援事業補助金」の中のメニューの一つ「地域子育て支援補助」を活用し実施している事業をあげているため、公立施設は含めていない。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		地域子育て支援事業			
													所管課		私立保育幼稚園課			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		利用者へのアンケートで利用してよかったと答えた人の割合【算出式：参加者へのアンケートで「参加して良かった」と答えた人の割合】			
													目標		実績			
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
100%	98%	98%	96%															
54	マタニティスクール（80に再掲）	妊婦とその家族に対して妊娠、分娩、育児について正しい知識を普及する。	まるっとこどもセンター	妊婦とその家族を対象に妊娠、出産、育児に関する正しい知識を普及し、母性および父性が確立できるよう支援するため教室を実施。参加延人数319人、うち配偶者の参加者延人数は158人。 ※令和5年10月より、動画配信を開始。日時や場所に捉われず、妊娠、分娩、育児について学べるように実施している。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎								
55	子ども医療費助成事業	0歳から18歳まで（令和５年７月診療分までは15歳まで）の子どもの医療費の一部について助成を行う。	医療助成・児童手当課	引き続き、医療助成対象者への助成を行った。 令和５年度実績 対象者56,176人	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		子ども医療費助成事業			
													所管課		医療助成課			
													指標種類		減少することが良いとされる指標			
													指標説明		１人あたりの受診件数（年平均）			
													目標		実績			
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
13件	12件	13件	13件															
56	就学援助費	経済的理由により就学が困難な児童、生徒の保護者に対し、学用品費など負担すべき費用について必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図る。	学校支援課	R5年度の在籍小学校児童19,376人、うち申請者3,993人、認定者は3,341人。在籍中学校生徒9,916人うち申請者2,327人、認定者1,944人	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		就学援助費事業			
													所管課		学校支援課			
													指標種類		減少することが良いとされる指標			
													指標説明		市内在籍全児童・生徒に対する認定率			
													目標		実績			
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
20%	19%	18%	18%															
57	ひとり親家庭医療費助成事業（95に再掲）	ひとり親家庭等の父または母や養育者とその養育する児童に対して、その児童が18歳に達した日以降における最初の３月31日までの間、その児童とその親等に関する通院、入院等の保険診療に係る自己負担分の一部を助成する。	医療助成・児童手当課	引き続き、医療助成対象者への助成を行った。 令和５年度実績 対象者6,733人	◎（達成）		推進・現状維持	◎	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		ひとり親家庭医療費助成事業			
													所管課		医療助成・児童手当課			
													指標種類		減少することが良いとされる指標			
													指標説明		１人あたりの受診件数（年平均）			
													目標		実績			
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
12件	12件	13件	14件															

58	児童扶養手当（94に再掲）	離婚等によるひとり親家庭等で18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者または20歳未満で政令の定める程度に障害のある者を監護する母、父または養育者に対して支給する。	医療助成・児童手当課	引き続き、手当対象者への支給を行った （受給者数 2,790人）	◎（達成）	推進・現状維持	◎	◎			事務事業実績測定指標						
											事務事業名称		児童扶養手当事業				
											所管課		医療助成・児童手当課				
											指標種類		増加することが良いとされる指標				
											指標説明		現況届受理件数に対する、児童扶養手当が適正に支給できた割合 【算出式：児童扶養手当支給件数/現況届受理件数×100】				
											目標		実績				
											(見込み)		R3	R4	R5	R6	R7
		86%	87%	86%													
59	児童手当	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とし、中学校修了前の児童を対象に手当てを支給する。	医療助成・児童手当課	引き続き、手当対象者への支給を行った （受給者数 24,317人）	◎（達成）	推進・現状維持	◎	◎			事務事業実績測定指標						
											事務事業名称		児童手当事業				
											所管課		医療助成・児童手当課				
											指標種類		増加することが良いとされる指標				
											指標説明		現況届受理件数に対する、適正な児童手当支給が実現できた割合 【算出式：児童手当支給件数/現況届受理件数×100】				
											目標		実績				
											(見込み)		R3	R4	R5	R6	R7
		100%	100%	93%	98%												
60	高齢者保健福祉施策に関する情報提供体制の強化（104に再掲）	介護保険をはじめとする高齢者保健福祉施策に関する情報について、高齢者サービスの手引きやパンフレットなどを発行する。また、ホームページ等を活用し、介護者同士の交流に関する情報提供を行う。外国人への情報提供については、大阪府が発行する外国語版の介護保険制度のパンフレットなどを活用する。	介護認定給付課・健康福祉政策課・健康福祉総合相談課	介護保険をはじめとする高齢者保健福祉施策に関する情報について、高齢者サービスの手引きやパンフレットなどを発行した。外国人への情報提供の際、大阪府が発行する外国語版の介護保険制度のパンフレットを用意し、活用した。SNSによりイベント情報等の発信を行った。	◎（達成）	推進・現状維持	◎	◎	◎								
			健康づくり課	地域包括支援センターの案内等のリーフレット等について、男女の固定的な性別分担をイメージさせる表現写真、イラストなどを使用してないリーフレット等を活用した。	◎（達成）							推進・現状維持	◎	○	◎		

(2) 就業、起業、再就業への支援

施策 番号	①取組名	②取組内容	③所管課	R 5 年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標					
				④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用					
61	創業支援	地域活性化支援センターにおいて、体験談や事例を学べるカフェ形式の交流会、専門アドバイザーによる創業相談、創業のノウハウを学ぶセミナーの実施、インキュベートルームの貸出、事務所家賃の補助など、創業の各段階における支援を行う。	商工振興課	ひらかたビジネスカフェ（市内で創業をめざす人々が創業について学び交流するセミナー）：9回開催、延べ120人参加 経営相談（専門相談員による創業予定者・中小企業者への指導・助言）：専門相談員23名、相談件数延べ495件 きらら創業実践塾（創業希望者や第二創業をめざす事業者等を対象とし、経営に必要な知識の習得をする通年講座）：29回開催、修了生10人 きらら創業実践塾〈短期集中型〉（全5回程度で経営・財務・人材育成・販路開拓について学べる短期講座）：1回開催、参加人数22人 インキュベートルームの貸出：12室の内、12室 テイクオフ補助金（インキュベートルームを1年以上使用した後、または特定創業支援等事業の証明書を受けた場合に、市内で創業する事業者に対し事務所等家賃の1/2を補助）：18件	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	地域活性化支援センター運営事業				
													所管課	商工振興課				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
													指標説明	アンケートの満足度 【算出式：参加者のうちアンケートで満足と回答した人数/参加者数×100】				
													目標	実績				
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
													80%	90.05%	95.20%	90.65%		
62	地域就労支援事業	障害者、母子家庭の母、父子家庭の父、中高年齢者など、働く意欲がありながら様々な就労阻害要因のために就労できない就職困難者等に対して、就労相談、情報提供、能力開発研修の実施など就労支援を行う。	商工振興課	就労相談：339人 事前対策講座：43人 パソコン講習会：ワードコース：11人 エクセルコース：11人 医療事務基礎講座：17人 テールゲートリフター特別教育：10人 フォークリフト運転技能講習：11人 介護職員初任者研修：15人 就職面接会：106人	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	地域就労支援事業				
													所管課	商工振興課				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
													指標説明	就職者数				
													目標	実績				
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
													30人	28人	35人	17人		
63	ひとり親家庭等への就業支援のための給付、貸付（91に再掲）	母子家庭の母及び父子家庭の父に対し、自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金を支給する。ひとり親家庭自立支援給付金事業や、母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦に対して技能取得資金、生活資金、事業開始にかかる貸し付けを行う。母子父子寡婦福祉資金の貸し付け制度を用いて就業に向けた資格取得の支援を行う。	まるっとこどもセンター	R5年度ひとり親家庭自立支援給付金支給状況 自立支援教育訓練給付金：7件 高等職業訓練促進給付金：26件 高等職業訓練修了支援給付金：5件	◎（達成）		推進・現状維持	◎	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	ひとり親家庭自立支援給付補助事業				
													所管課	まるっとこどもセンター				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
													指標説明	申請者の内、講座受講修了者及び養育機関修了者の割合。 【算出式：】（講座受講修了者＋養育機関修了者）÷申請者×100				
													目標	実績				
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
													100%	100%	100%	100%		

64	母子家庭等就業・自立支援センター事業（92に再掲）	母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦に対し、母子家庭等就業・自立支援センターにおいて、就業支援講習会、就業相談、就業情報提供などを行う。	まるっとこどもセンター	母子家庭等就業・自立支援センターにて生活相談や仕事の紹介等の就業支援を行った（延べ相談件数130件）ほか、パソコン等の就業支援講習会等を実施した（実施事業数12件）。就職・転職に関する相談者14人のうち9人が就職に結びついた。また、離婚後の養育費や面接交流等に関する相談事業を実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	ひとり親家庭等就業・自立支援事業				
													所管課	まるっとこどもセンター				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
													指標説明	相談や講習会を通じて、技能の取得や就職が実現した人の数。				
													目標	実績				
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
													35人	5人	10人	9人		
65	女性活躍推進法の周知	女性活躍推進法の周知を図る。	人権政策課	男女共生フロア・ウィルの情報コーナーに女性活躍推進法に関する事業のチラシやリーフレットを設置し周知に努めた。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○								
			商工振興課	大阪府が実施した女性活躍推進法に関する事業のチラシやリーフレットを窓口設置した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								

(3) 雇用における男女の均等な機会及び待遇の確保

		R 5 年度の取組状況							⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標				
施策番号	①取組名	②取組内容	③所管課	④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用					
66	女性の採用、職域拡大などの関する啓発や相談窓口の周知	男女間の格差を解消するための取り組みとして、労働基準法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、パートタイム労働法、労働者派遣法 などの関係法令の周知を図るとともに、リーフレットなどを活用したポジティブアクションに関する啓発を行う。 また、労働に関する相談窓口となる、労働局雇用均等室、大阪府総合労働事務所などの周知を図る。	人権政策課	労働局雇用均等室や大阪府の労働相談センターが発行する相談窓口の案内チラシなどを男女共生フロア・ウィルの情報コーナーに配架し、市民への周知を図った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○								
			商工振興課	制度や相談窓口に関するリーフレットを設置し、市民への周知を図った。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								
67	ハラスメントの防止に関する取り組み(22に再掲)	庁内、学校、事業所等に対してセクシュアルハラスメントやマタニティハラスメントをはじめ、あらゆるハラスメントに対する防止啓発や対応策の確立に向けた支援を行う。	コンプライアンス推進課	・しおりの配布及びグループウェアへの掲載により、ハラスメント防止についての啓発及び「苦情相談制度」の周知に努めた。 ・入職3・4・5・9・10年目の若年層を対象とするハラスメント防止研修を実施した。 ・課長・課長代理を対象に管理職向けのハラスメント防止研修を実施した。 ・任期付職員及び会計年度任用職員、臨時職員への啓発として動画研修を行った。 ・ハラスメント苦情相談員の配置及び外部相談窓口の設置により、ハラスメント苦情相談を受け付け、解決に向けた対応を行った。 ・全職員を対象とするハラスメント実態調査を実施した。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		ハラスメント防止対策・内部通報制度事務			
													所管課		コンプライアンス推進課			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		ハラスメント防止研修参加人数			
													目標 (見込み)		実績			
															R3	R4	R5	R6
			400人	326人	390人	726人												
						教職員課	全学校にセクシュアル・ハラスメント相談窓口を設置し、教職員への周知を行った。 相談窓口での対応者について、男性のみ、女性のみとならないよう複数で対応できるよう指示した。 また、全学校においてセクシュアル・ハラスメント防止研修を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎					
			児童生徒課	校内に相談窓口を設置するとともに、窓口担当者を児童・生徒及び保護者に周知した。その他、大阪府すこやか教育相談、子どもの笑顔守るコール等の相談窓口を周知した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎								

68	業務委託における総合評価 落札方式の入札を適用することによる、男女共同参画に関する事業者への啓発	市が発注する業務委託の一部において、委託業務総合評価一般競争入札の落札者決定基準に、仕事と子育ての両立支援やあらゆるハラスメント防止対策など男女共同参画の視点に立った項目を設定して評価を行う。	契約課	市が発注する業務委託の一部において、委託業務総合評価一般競争入札の落札者決定基準に、仕事と子育ての両立支援やあらゆるハラスメント防止対策など男女共同参画の視点に立った項目を設定して評価を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			
----	---	--	-----	---	-------	--	---------	---	---	---	--	--	--

(4) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）への理解の促進

				R 5 年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標
施策番号	①取組名	②取組内容	③所管課	④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用
69	ワーク・ライフ・バランスに関する啓発及び法令や制度の周知	市民や市内事業所及び庁内において、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発を行うとともに、労働基準法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、パートタイム労働法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法や制度の周知を図る。	人権政策課	労働局雇用均等室や大阪府の労働相談センターが発行する相談窓口の案内チラシなどを男女共生フロア・ウィルの情報コーナーに配架し、市民への周知を図った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			
			人事課・職員課	改正した育児休業制度や会計年度任用職員にかかる休暇制度の内容や男性職員の育児に係る休暇・休業のさらなる取得促進を目的に作成した「男性職員の育児にかかる休暇・休業リーフレット」などを庁内に周知することで、働きやすい職場環境整備とともに、男女を問わない仕事と子育て・介護の両立支援を促した。また、計画年休取得を促進するなど、ワーク・ライフ・バランスの推進や子育てにやさしい職場づくりに取り組んだ。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			
			教職員課	男性職員の育児休業等の取得促進に向けた取り組みの一層の推進について、府からの通知に基づき周知を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			
70	市の男性職員の育休取得促進	市職員の長時間労働の抑制を推進するとともに、配偶者の就労状況に関わらず、子どもがいる男性職員が育児休業・育児休暇を取得できるよう、制度の周知と職場環境づくりを推進する。	職員課	長時間労働の抑制については、ノー残業デーの実施やＰＣシャットダウンシステムの運用に加え、各部で取り組み縮減策の参考とするために月別時間外勤務実績を各部へ提供した。男性職員による育児休業の取得促進については、今後の取得促進策の検討のために、近年、同制度を取得した男性職員に対し、アンケートを実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			

基本目標4 だれもが安心して暮らせるまちづくり

(1) 生涯を通じたすべての人の健康保持と増進への支援

施策 番号	①取組名	②取組内容	③所管課	R5年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標					
				④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用					
71	健康づくり推進事業	健康づくりの知識の啓発及び実践等を通して、健康意識の向上を図り、市民の健康づくりを支援する。	健康づくり課	【健康づくりボランティア講座】 実施回数：5回＋修了式 参加者数：64人 【健康づくりボランティアによる活動】 ・地区組織活動…実施回数：65回、 参加者数：1,322人 ・自主活動…実施回数：35回、 参加者数：818人	◎（達成）		推進・現状維持	◎	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	健康づくり推進事業				
													所管課	健康づくり課				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
													指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合【算出式：(準備期＋実行期＋維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				
													目標 (見込み)	実績				
														R3	R4	R5	R6	R7
72	健康教育事業、健康相談事業	健康の保持増進を目的として、健康に関する正しい知識の普及や支援を行う。	健康づくり課	【健康教育事業】 実施回数：92回、参加者数：2334人 【健康相談事業】 実施回数：657回、参加者数：2825人	◎（達成）		推進・現状維持	◎	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	健康づくり推進事業				
													所管課	健康づくり課				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
													指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合【算出式：(準備期＋実行期＋維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				
													目標 (見込み)	実績				
														R3	R4	R5	R6	R7
73	住民健康診査事業	15歳から39歳以下で健診を受ける機会のない人や40歳以上で医療保険に加入していない人を対象に、住民健康診査を行う。	健康づくり課	【受診者数】1,011人 (内訳15～39歳：421人、 40歳以上：590人)	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	特定健康診査・特定保健指導事業				
													所管課	健康づくり課				
													指標種類	減少することが良いとされる指標				
													指標説明	生活習慣病の患者数				
													目標 (見込み)	実績				
														R3	R4	R5	R6	R7
74	特定健康診査・特定保健指導事業	メタボリックシンドロームに着目した健康診査の実施及び健診結果に基づく保健指導を行う。	健康づくり課	【受診者数（受診率）】R6.6.3時点 男性：6,473人（30.7%） 女性：10,006人（38.0%） 就労等により平日受診が困難な対象者に対して日曜日健診を実施した。 【特定保健指導利用者（利用率）】 R6.6.3時点 男性：168人（14.7%） 女性：91人（14.4%）	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	特定健康診査・特定保健指導事業				
													所管課	健康づくり課				
													指標種類	減少することが良いとされる指標				
													指標説明	生活習慣病の患者数				
													目標 (見込み)	実績				
														R3	R4	R5	R6	R7
75	がん対策事業	がん検診の受診率向上を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及を図る。	健康づくり課	【受診者数 R5】 肺がん:26,612人、胃がん:5,051人 大腸がん:23,060人、子宮頸がん:15,106人 乳がん:6,521人、前立腺がん:8,519人 肝炎ウイルス:2,889人 各種がん検診のチラシ等の作成や健康教育を実施し、がんの早期発見と正しい健康意識や知識の普及啓発を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	がん対策事業				
													所管課	健康づくり課				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
													指標説明	精密検査の受診率 【算出式：精密検査受診者数/要精密検査者数×100】				
													目標 (見込み)	実績				
														R3	R4	R5	R6	R7

76	自殺予防対策事業	専門研修を修了した相談員による自殺予防相談専用電話「ひらかたいのちのホットライン」の実施、自殺のサインに早期に気づき、対応するゲートキーパー 養成のほか、自殺予防に関わる情報提供、啓発を行う。	保健医療課	本事業については、枚方市社会福祉協議会へ委託して実施した。電話相談事業（ひらかたいのちのホットライン）や人材育成事業として電話相談員対象のフォローアップ事業、リーフレットの配布、勤労者向けのリーフレットの作成と企業への配布、枚方市駅構内でのデジタルサイネージ、広報、SNS等による普及啓発を実施した。ゲートキーパー養成研修は庁内職員向け、市民向けに実施した。3月には普及啓発講演会を実施した。また、3月に第2期枚方市いのちを支える行動計画（自殺対策計画）を策定	◎（達成）		推進・現状維持	△	△	△			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	自殺予防対策事業				
													所管課	保健医療課				
													指標種類	減少することが良いとされる指標				
													指標説明	自殺死亡率				
													目標	実績				
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
													11.0以下	14.2	14.8	14.9		
77	こころの健康相談	医師、精神保健福祉士、保健師、ケースワーカーによる、統合失調症、うつ病、認知症、アルコール依存症などの精神疾患、ひきこもりなどについての相談を行う。	保健医療課	神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、相談業務や普及啓発等を実施した。精神保健相談では、統合失調症や依存症などさまざまな精神疾患に関する相談があり、相談内容に応じて迅速かつ適切な対応を行った。また、精神科医による相談を実施し、精神科医療未受診者や中断者の面接や訪問、家族や本人、関係機関職員の相談等に応じた。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	精神保健福祉事業				
													所管課	保健医療課				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
													指標説明	本人や家族、関係機関等からのこころの健康相談件数				
													目標	実績				
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
													4,900件	5,735件	5,189件	5,761件		
78	性の多様性を反映した医療体制の整備に向けた啓発	多様な性のあり方が考慮された、医療体制の整備に向け、医療機関への周知・啓発を行う。	人権政策課	性の多様性やパートナーシップ宣誓制度に関するリーフレットの配布により周知・啓発に務めた。市ホームページやリーフレットに、市立ひらかた病院における対応として、パートナーシップ宣誓制度導入前から入院、医療行為の説明の同席等は当事者の意向を踏まえて柔軟に対応していることを記載し周知した。	○（概ね達成）		推進・現状維持	△	△	○								
			健康福祉政策課	性的マイノリティの方も地域で安心して医療を受けることができるよう枚方市地域福祉計画でその重要性を記載し、市内の医療機関で構成されている枚方市医師会への計画周知や医療関係者を含む枚方市社会福祉審議会で計画の進捗を確認した。	○（概ね達成）		推進・現状維持	△	△	○								
79	妊産婦健康診査事業、妊産婦歯科健康診査事業	妊産婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠、出産ができる体制を確保するため、妊産婦健康診査及び妊産婦歯科健康診査の費用助成を行う。	まるっとこどもセンター	妊婦健康診査 28638 件、産婦健康診査 4047件、妊産婦歯科健康診査776件の費用助成を実施。妊婦とその家族が安心して出産を迎えられるよう、妊娠届出時に保健師または助産師が対象者全員に健診の費用助成について説明。また、受診後、医師が保健指導が必要と判断した対象者には保健師が支援を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	妊産婦健康診査事業				
													所管課	まるっとこどもセンター				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
													指標説明	「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができた」と感じる人の割合				
													目標	実績				
													(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7
													93%	88.80%	88.10%	92.30%		

80	マタニティスクール（54の再掲）	妊婦とその家族に対して妊娠、分娩、育児について正しい知識を普及する。	まるっとこどもセンター	妊婦とその家族を対象に妊娠、出産、育児に関する正しい知識を普及し、母性および父性が確立できるよう支援するため教室を実施。参加延人数319人、うち配偶者の参加者延人数は158人。 ※令和5年10月より、動画配信を開始。日時や場所に捉われず、妊娠、分娩、育児について学べるように実施している。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎																																																			
81	性感染症の予防啓発	性感染症に関する正しい知識の普及啓発を行う。	保健予防課	○毎週火曜日（祝日除く）に性感染症の検査・相談を実施。 ○大阪府と9市（政令・中核市）で組織するエイズ予防週間実行委員会に参画し、広域的に周知啓発を実施。 ○広報・ホームページ、市政情報モニター、SNS発信、庁内メールを用いた啓発。 ○市役所および関係機関へのポスター掲示や啓発物品の配布依頼、市内の大学への大学フェアを通した啓発。 ○京阪枚方市駅コンコース内のデジタルサイネージでHIV/AIDSについての周知啓発。 ○連携協定を結んでいる塩野義製薬と連携したHIV/AIDSについての情報発信。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	○	◎																																																			
82	女性外来	女性医師が、思春期の悩みや相談、妊娠・出産期の問題、乳がん、子宮がん、更年期に伴う症状まであらゆる女性の病気について総合的に初期診療を行う。	市立ひらかた病院 医療相談・連携室	電話での問い合わせがあった場合、事前にヒアリングを行い、自覚症状がある方には、適応の診療科への案内を行っている。 女性外来の対象患者の場合、予約にて受診していただき、R5年度は3名の実績である。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎																																																			
83	母子訪問指導事業（妊産婦訪問、新生児・乳幼児訪問、乳幼児健診未受診者訪問等）	家庭訪問により、妊産婦及び乳幼児の保護者の子育てに関する相談に応じ、子どもに対する理解を深め、疾病の予防や母と子どもの健康の保持増進に努める。また、地域で孤立している母親の育児不安の解消などに対して、生活の場である家庭でより丁寧な個別指導を行うことで、安心して健全な子育てができるよう支援する。周産期からのハイリスク母子を早期に確実に把握し、支援する体制を充実させるために、医療機関等関係機関との連携を図る。	まるっとこどもセンター	・助産師による乳児・妊産婦訪問指導 児の発育不良や保護者の育児不安等がある場合には、育児支援の一環として児が1歳になるまで継続訪問（産後ケア訪問、要養育支援訪問）も実施。 訪問延件数 5379 件 （内訳：新生児・乳児 2232件、妊産婦 2217件、産後ケア訪問 535件、要養育支援訪問331件、未熟児 69件）	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			<table><tr><td colspan="6">事務事業実績測定指標</td></tr><tr><td colspan="2">事務事業名称</td><td colspan="4">母子保健事業</td></tr><tr><td colspan="2">所管課</td><td colspan="4">まるっとこどもセンター</td></tr><tr><td colspan="2">指標種類</td><td colspan="4">増加することが良いとされる指標</td></tr><tr><td colspan="2">指標説明</td><td colspan="4">この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合</td></tr><tr><td>目標</td><td colspan="5">実績</td></tr><tr><td>（見込み）</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>100%</td><td>97%</td><td>97%</td><td>96%</td><td></td><td></td></tr></table>	事務事業実績測定指標						事務事業名称		母子保健事業				所管課		まるっとこどもセンター				指標種類		増加することが良いとされる指標				指標説明		この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合				目標	実績					（見込み）	R3	R4	R5	R6	R7	100%	97%	97%	96%		
事務事業実績測定指標																																																													
事務事業名称		母子保健事業																																																											
所管課		まるっとこどもセンター																																																											
指標種類		増加することが良いとされる指標																																																											
指標説明		この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合																																																											
目標	実績																																																												
（見込み）	R3	R4	R5	R6	R7																																																								
100%	97%	97%	96%																																																										
84	産後ママ安心ケアサービス	家族からの支援が受けられない等で支援が必要な産後4か月未満の母子を対象に、産科医療機関と助産所でショーツステイ（宿泊型）、デイサービス（日帰り型）を実施し、助産師等による心身のケアや育児に関する相談を行う。	まるっとこどもセンター	母の心身の安定と育児主義の獲得、育児不安の解消を図ることを目的に、助産師等が心身のケア、休養、乳房のケア等の相談を実施。医療機関からの紹介や、出生届出時のリーフレット配付等で周知。 利用実人数：245 人、利用延べ日数：579 日（内訳：ショーツステイ 257泊、デイサービス 322日）	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			<table><tr><td colspan="6">事務事業実績測定指標</td></tr><tr><td colspan="2">事務事業名称</td><td colspan="4">母子保健事業</td></tr><tr><td colspan="2">所管課</td><td colspan="4">まるっとこどもセンター</td></tr><tr><td colspan="2">指標種類</td><td colspan="4">増加することが良いとされる指標</td></tr><tr><td colspan="2">指標説明</td><td colspan="4">この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合</td></tr><tr><td>目標</td><td colspan="5">実績</td></tr><tr><td>（見込み）</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>100%</td><td>97%</td><td>97%</td><td>96%</td><td></td><td></td></tr></table>	事務事業実績測定指標						事務事業名称		母子保健事業				所管課		まるっとこどもセンター				指標種類		増加することが良いとされる指標				指標説明		この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合				目標	実績					（見込み）	R3	R4	R5	R6	R7	100%	97%	97%	96%		
事務事業実績測定指標																																																													
事務事業名称		母子保健事業																																																											
所管課		まるっとこどもセンター																																																											
指標種類		増加することが良いとされる指標																																																											
指標説明		この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合																																																											
目標	実績																																																												
（見込み）	R3	R4	R5	R6	R7																																																								
100%	97%	97%	96%																																																										

85	リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する啓発	リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する啓発や 情報提供を行う。	人権政策課	男女共生フロア・ウィル図書コーナーの蔵書 を点検し、女性特有の疾患や生理に関する 新しい書籍を購入し、リプロダクティブ・ヘルス／ ライツに関する情報提供を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			
----	------------------------	-------------------------------------	-------	--	-------	--	---------	---	---	---	--	--	--

(2) ひとり親家庭をはじめ、多様な家族に関する啓発、支援の取り組み

		R 5 年 度 の 取 組 状 況						⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標					
施策番号	①取組名	②取組内容	③所管課	④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用					
86	母子・父子自立支援員による相談支援事業	ひとり親家庭等の自立を支援するため、母子・父子自立支援員を配置し、生活の安定や自立のための各種相談、貸付事業、母子・父子自立支援プログラムの策定等を行い、必要に応じて他の支援機関につなげるにより、ひとり親家庭等の総合的、包括的な支援を行う。	まるっとこどもセンター	就労等に関する相談160件（内、父子1件）、離婚前相談等300件（15件）、福祉資金貸付金に関する相談100件（4件）、JＲ割引や助産制度等に関する相談200件（6件）、その他相談100件（0件）	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								
87	ひとり親家庭等日常生活支援事業	母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦が、疾病、冠婚葬祭、出張等の理由により日常生活を営むのに支障が生じている場合に、家庭生活支援員を派遣し生活援助や子育て支援を行う。	まるっとこどもセンター	ひとり親家庭等日常生活支援事業として、介護事業所に委託し、家庭生活支援員を派遣。R5年度は、母子37世帯、父子9世帯の登録があり、460回派遣を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		ひとり親家庭等日常生活支援事業			
													所管課		まるっとこどもセンター			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		家庭生活支援員利用対象世帯に対し、アンケート調査を実施する。その内、満足と回答した人の割合。 【算出式：満足と回答した世帯数／利用世帯数×			
													目標		実績			
													（見込み）		R3	R4	R5	R6
88	保育所（園）等の優先利用	既存保育所（園）の定員増や定員の弾力化を行い、保育所（園）等の入所枠を拡大し、待機児童の解消を図る。また、保育所（園）等の利用調整（選考）では、基準表における基礎点及び調整点の合計点の上位順に決定しており、ひとり親である場合は調整点を加点し入所しやすくする。	保育幼稚園入園課	既存保育所(園)の定員増や弾力化を行うとともに、ひとり親には利用調整基準の調整点を加点することで入所しやすくした。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								
													70%					
89	市営住宅におけるひとり親世帯等への優先入居と府営住宅の案内	市営住宅に空き家が生じた場合はその都度、高齢者、障害者、ひとり親等の福祉世帯向けとして募集する。また、府営住宅の募集に係る案内（福祉世帯向け）を行う。	財産活用課	高齢者、障害者、ひとり親等の福祉世帯向けとして、3部屋の入居募集を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								
			健康福祉政策課	府営住宅の募集に係る案内について、各支所3か所及び市内4カ所の生涯学習市民センターで配付を行う。 ※市営住宅に関する取り組みは財産管理課で実施。	○（概ね達成）		推進・現状維持	◎	○	○								

90	母子生活支援施設への入所 (41の再掲)	夫の暴力から逃れるため等の事情で子どもの養育が十分できない場合に、母子ともに安全で安定した生活を送れるように入所させて保護し、その自立の促進のために生活を支援することによって、母子の福祉を図る。	まるっとこどもセンター	18歳未満の子どもを養育している母子を対象に、関係機関と連携しながら、母子ともに安全で安定した生活を送れるように入所決定し、その自立の促進のために生活を支援することによって、母子福祉の向上を図った。 R5年度母子生活支援施設利用世帯：6世帯。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		母子生活支援施設入所措置等事務			
													所管課		まるっとこどもセンター			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明					
													母子生活支援施設への入所希望者が入所できた割合。 【算出式：実際に入所した人数／入所希望人数×					
													目標		実績			
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7													
100%	100%	100%	100%															
91	ひとり親家庭等への就業支援のための給付、貸付（63の再掲）	母子家庭の母及び父子家庭の父に対し、自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金を支給する。ひとり親家庭自立支援給付金事業や、母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦に対して技能取得資金、生活資金、事業開始にかかる貸し付けを行う。母子父子寡婦福祉資金の貸し付け制度を用いて就業に向けた資格取得の支援を行う。	まるっとこどもセンター	R5年度ひとり親家庭自立支援給付金支給状況 自立支援教育訓練給付金：7件 高等職業訓練促進給付金：26件 高等職業訓練修了支援給付金：5件	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		ひとり親家庭自立支援給付補助事業			
													所管課		まるっとこどもセンター			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明					
													申請者の内、講座受講修了者及び養育機関修了者の割合。					
													目標		実績			
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7													
100%	100%	100%	100%															
92	母子家庭等就業・自立支援センター事業（64の再掲）	母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦に対し、母子家庭等就業・自立支援センターにおいて、就業支援講習会、就業相談、就業情報提供などを行う。	まるっとこどもセンター	母子家庭等就業・自立支援センターにて生活相談や仕事の紹介等の就業支援を行った（延べ相談件数130件）ほか、パソコン等の就業支援講習会等を実施した（実施事業数12件）。就職・転職に関する相談者14人のうち9人が就職に結びついた。また、離婚後の養育費や面接交流等に関する相談事業を実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		ひとり親家庭等就業・自立支援事業			
													所管課		まるっとこどもセンター			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明					
													相談や講習会を通じて、技能の取得や就職が実現した人の数。					
													目標		実績			
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7													
35人	5人	10人	9人															
93	母子父子寡婦福祉資金の貸付	母子家庭、父子家庭及び寡婦に対し、その生活の安定と向上のために必要な貸付を行うことにより経済的自立の助成、生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童等の福祉の増進を図る。	まるっとこどもセンター	貸付の実績は以下のとおりであった。 修学資金：25件（継続分も含む） 就学支度資金：5件	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		母子父子寡婦福祉資金貸付事業			
													所管課		まるっとこどもセンター			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明					
													貸付金の支給を行った人の内、修学している人の割合。					
													目標		実績			
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7													
100%	100%	100%	100%															
94	児童扶養手当（58の再掲）	離婚等によるひとり親家庭等で18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者または20歳未満で政令の定める程度に障害のある者を監護する母、父または養育者に対して支給する。	医療助成・児童手当課	引き続き、手当対象者への支給を行った（受給者数2,970人）	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		児童扶養手当事業			
													所管課		医療助成・児童手当課			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明					
													療次届出補件数に対する、児童扶養手当が適正に支給できた割合【算出式：児童扶養手当支給届件数/療次届出受領件数×100】					
													目標		実績			
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7													
86%	87%	86%	86%															
95	ひとり親家庭医療費助成事業（57の再掲）	ひとり親家庭等の父または母や養育者とその養育する児童に対して、その児童が18歳に達した日以降における最初の3月31日までの間、その児童とその親等に関する通院、入院等の保険診療に係る自己負担分の一部を助成する。	医療助成・児童手当課	引き続き、医療助成対象者への助成を行った。 令和5年度実績 対象者6,733人	◎（達成）		推進・現状維持	◎	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		ひとり親家庭医療費助成事業			
													所管課		医療助成・児童手当課			
													指標種類		減少することが良いとされる指標			
													指標説明					
													1人あたりの受診件数（年平均）					
													目標		実績			
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7													
12件	12件	13件	14件															

96	水道料金等の減免	児童扶養手当を受給している「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に規定する配偶者のない女子又は男子が属する世帯（市民税非課税世帯に限る）には、水道料金及び下水道使用料の基本料金と8㎡（1か月あたり）の従量料金を減免する。	上下水道財務課	児童扶養手当を受給している母子・父子世帯（市民税非課税世帯に限る）については、一定の要件のもと申請により、水道料金及び下水道使用料の基本料金と8㎡（1か月あたり）の従量料金の減免を行っている。 <令和5年度実績（令和6年3月31日現在）> 母子家庭：741世帯、父子家庭：17世帯	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎																																																			
97	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	高等学校を卒業していないひとり親家庭の子どもまたは親が、高等学校卒業程度の認定試験の合格を目指すために講座を受講する場合に、受講終了時給付金や合格時給付金を支給する。	まるっとこどもセンター	高等学校を卒業していないひとり親家庭の子どもまたは親が、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指すために講座を受講する場合に、受講終了時給付金や合格時給付金を支給する制度であるり、R5年度は2件申請あり。	○（概ね達成）		推進・現状維持	◎	○	○																																																			
98	保育所保育料等の軽減	年収が一定額未満のひとり親家庭に対する保育所保育料等の負担軽減を行う。	保育幼稚園入園課	年収が約360万円未満相当のひとり親等に対して、保育所保育料の負担軽減を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎																																																			
99	養育費確保に向けた総合的な相談支援	離婚によりひとり親となった家庭の子の養育費を確保するため必要となる支援を、総合的に行う。	まるっとこどもセンター	養育費を確保するための相談や手続きのサポート、公正証書などの書類作成に必要な費用の補助を行う「養育費確保サポート事業」を新たに開始。 養育費サポート事業として、弁護士相談が46件、公正証書等作成補助が22件だった。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			<table><tr><th colspan="6">事務事業実績測定指標</th></tr><tr><td>事務事業名称</td><td colspan="5">ひとり親家庭養育費相談・支援事業</td></tr><tr><td>所管課</td><td colspan="5">まるっとこどもセンター</td></tr><tr><td>指標種類</td><td colspan="5">増加することが良いとされる指標</td></tr><tr><td>指標説明</td><td colspan="5">養育費サポート事業を申請した人のうち養育費を受け取った人の割合 【算出式：申請者のうち養育費を受け取った人数／申請者数×100】</td></tr><tr><td>目標</td><td colspan="5">実績</td></tr><tr><td>(見込み)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td></td><td></td></tr></table>	事務事業実績測定指標						事務事業名称	ひとり親家庭養育費相談・支援事業					所管課	まるっとこどもセンター					指標種類	増加することが良いとされる指標					指標説明	養育費サポート事業を申請した人のうち養育費を受け取った人の割合 【算出式：申請者のうち養育費を受け取った人数／申請者数×100】					目標	実績					(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7	100%	100%	100%	100%		
事務事業実績測定指標																																																													
事務事業名称	ひとり親家庭養育費相談・支援事業																																																												
所管課	まるっとこどもセンター																																																												
指標種類	増加することが良いとされる指標																																																												
指標説明	養育費サポート事業を申請した人のうち養育費を受け取った人の割合 【算出式：申請者のうち養育費を受け取った人数／申請者数×100】																																																												
目標	実績																																																												
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7																																																								
100%	100%	100%	100%																																																										
100	ひとり親家庭等情報交換事業	ひとり親家庭になって間もない家庭は、生活環境の変化が著しく、親自身が生活の中で直面する問題にひとりで悩み、精神面でも不安定な状況にある。こうしたひとり親家庭等が定期的に集い、交流や情報交換を行う場を設ける。	人権政策課	離婚前後親子支援を目的に「前向きに離婚を考えるママのための連続講座」（全2回、参加人数39人）を実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎																																																			
			まるっとこどもセンター	市民及び母子父子福祉推進委員向けの研修会「子どもが笑顔で健やかに成長できるように～子どもの養育・家族のトラブル～」を開催。参加人数：41人。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			<table><tr><th colspan="6">事務事業実績測定指標</th></tr><tr><td>事務事業名称</td><td colspan="5">母子家庭厚生補助事業</td></tr><tr><td>所管課</td><td colspan="5">まるっとこどもセンター</td></tr><tr><td>指標種類</td><td colspan="5">増加することが良いとされる指標</td></tr><tr><td>指標説明</td><td colspan="5">補助対象事業への参加者に対し、アンケート調査を実施する。そのうち満足と回答した人の割合。【算出式：満足と回答した人数／参加者人数×100】</td></tr><tr><td>目標</td><td colspan="5">実績</td></tr><tr><td>(見込み)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>70%</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr></table>	事務事業実績測定指標						事務事業名称	母子家庭厚生補助事業					所管課	まるっとこどもセンター					指標種類	増加することが良いとされる指標					指標説明	補助対象事業への参加者に対し、アンケート調査を実施する。そのうち満足と回答した人の割合。【算出式：満足と回答した人数／参加者人数×100】					目標	実績					(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7	70%	-	-	-		
事務事業実績測定指標																																																													
事務事業名称	母子家庭厚生補助事業																																																												
所管課	まるっとこどもセンター																																																												
指標種類	増加することが良いとされる指標																																																												
指標説明	補助対象事業への参加者に対し、アンケート調査を実施する。そのうち満足と回答した人の割合。【算出式：満足と回答した人数／参加者人数×100】																																																												
目標	実績																																																												
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7																																																								
70%	-	-	-																																																										

101	ひとり親家庭をはじめ多様な家族に関する啓発	ひとり親家庭や、ステップファミリーなど、多様な家族に対する差別や偏見の解消に向けた啓発を行う。	人権政策課	男女共生フロア・ウィル講座、映画上映会、図書コーナーにて、市民に向けて多様な家族に対する啓発を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			
			まるっとこどもセンター	市民及び母子父子福祉推進委員向けの研修会「子どもが笑顔で健やかに成長できるように～子どもの養育・家族のトラブル～」を開催。参加人数：41人。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	○	◎			

(3) 高齢者、障害者、外国人市民等への支援

施策 番号	①取組名	②取組内容	③所管課	R 5 年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標					
				④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調書などから引用					
102	介護予防普及啓発事業	高齢者の健康に対する意識を高めるため、啓発をはじめ、健康づくり、介護予防に関する教室の開催等を行う。	健康づくり課	R5年度実績 【介護予防普及啓発事業】 健活フェスタや身近な場所で開催する介護予防教室等への参加者人数。 開催回数：744回 参加延べ人数：15,369人	◎（達成）		推進・現状維持	◎	○	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	地域介護予防活動支援事業				
													所管課	健康づくり課				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
													指標説明	主観的健康観が向上する人の割合 【算出式：向上した人数／参加者全体数×100】				
													目標 (見込み)	実績				
													30%	R3	R4	R5	R6	R7
103	包括的支援事業	高齢者総合相談支援拠点（地域包括支援センター）を地域に設置し、高齢者の総合相談窓口として、高齢者の介護予防や権利擁護、虐待防止等を含めた相談に対応する。	健康づくり課	男女の固定的な性別分担をイメージさせる表現写真、イラストなどを使用していないリーフレット等を活用するよう配慮し、介護、福祉、健康、医療などの関係機関及び地域団体などと連携をとりながら、地域における高齢者の総合相談窓口として相談対応を実施した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	○	◎								
104	高齢者保健福祉施策に関する情報提供体制の強化（60の再掲）	介護保険をはじめとする高齢者保健福祉施策に関する情報について、高齢者サービスの手引きやパンフレットなどを発行する。また、ホームページ等を活用し、介護者同士の交流に関する情報提供を行う。外国人への情報提供については、大阪府が発行する外国語版の介護保険制度のパンフレットなどを活用する。	介護認定給付課・健康福祉政策課・健康福祉総合相談課	介護保険をはじめとする高齢者保健福祉施策に関する情報について、高齢者サービスの手引きやパンフレットなどを発行した。外国人への情報提供の際、大阪府が発行する外国語版の介護保険制度のパンフレットを用意し、活用した。SNSによりイベント情報等の発信を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								
			健康づくり課	地域包括支援センターの案内等のリーフレット等について、男女の固定的な性別分担をイメージさせる表現写真、イラストなどを使用していないリーフレット等を活用した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								
105	地域活動支援センター事業	障害者が地域で自立した生活を営めるよう、創作的活動や生産活動の機会を提供するとともに、社会との交流の促進を図り、障害者の地域生活に必要な相談や情報提供を行う。	障害企画課	・基幹相談支援センター（3か所）、障害者相談支援センター（4か所）では、障害者等からの相談支援を行った。 ・地域活動支援センター（9か所）が実施する講習会等には多数の参加があった。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称	地域活動支援センター事業				
													所管課	障害企画課				
													指標種類	増加することが良いとされる指標				
													指標説明	延べ利用者数				
													目標 (見込み)	実績				
													42,500人	R3	R4	R5	R6	R7
														35,224人	36,374人	35,993人		

106	保育所（園）等及び学校園における障害に関する相談	障害児相談、巡回相談などを通じ、障害や発達に応じた専門的な保育、療育、教育的支援を行う。	公立保育幼稚園課	市内の公私立幼稚園へ相談員を派遣した（373回）	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			
			市立ひらかた子ども発達支援センター	保育所(園)・幼稚園等における巡回相談や保育相談、子ども発達支援センターにおける発達相談では、性別に関わりなく、発達と障害の状況に応じた相談を行っている。また、できるだけ保護者が相談に来所しやすいように、保護者(父親、祖父母も含め)の勤務の都合に合わせて、相談日の日程や時間を設定している。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			
			支援教育課	発達障害等があり教育的支援を必要とする児童・生徒に対する個に応じた指導の一層の充実を図るために、特別支援教育士・臨床心理士等の専門家を小中学校に派遣した。児童・生徒への指導や学校内の支援教育体制について教職員に直接指導・助言を行った。また、肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施した。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			
107	高齢者、障害者等に配慮した情報提供	広報ひらかたの点字、録音版、ホームページの音声版など、高齢者、障害者などに配慮した情報提供に努める。	広報プロモーション課	広報ひらかた及びひらかた便利帳の点字・録音版、ホームページの音声版など、高齢者、障害者などに配慮した情報提供を行った。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			
108	高齢者虐待防止啓発	地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）が高齢者の生活に関する総合的な相談窓口となり、早期の相談につなげ、虐待への発展を防止する体制を整備する。また、講座やリーフレットの配布、地域での出前講座などを通じて高齢者虐待防止の啓発を推進する。	健康福祉総合相談課	R5年度は、地域包括支援センターの相談件数のうち、虐待相談に関するものが309件あり、必要な支援につなげた。リーフレットの配布等による高齢者虐待防止の普及啓発を行った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	◎	○	○			

109	障害者虐待防止啓発	障害者虐待防止センターが総合的な相談窓口となり早期の相談につなげ、虐待への発展を防止する体制を整備する。また、講座やリーフレットの配布、地域での出前講座、広報ひらかたへの掲載などを通じて障害者虐待防止の啓発を推進する。	障害支援課	引き続き、障害者虐待防止センターが総合的な相談窓口となり早期の相談につなげ、虐待への発展を防止する体制を行った。また、講座やリーフレットの配布、地域での出前講座、広報ひらかたへの掲載などを通じて障害者虐待防止の啓発に努めた。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		障害者虐待防止対策支援事業			
													所管課		障害支援課			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		支援につなげた結果件数			
													目標		実績			
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7													
5件	5件	5件	8件															

110	外国人市民等への生活関連情報等の提供	市民生活関連情報の外国語への翻訳や利用支援を行う。	広報プロモーション課	多言語翻訳アプリ「カタログポケット」を利用して広報ひらかたを10言語で読めるようにしている。市ホームページについては8言語への自動翻訳機能を実装している。令和5年度発行の市勢要覧についても4言語で発行した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎								
			人権政策課	市内在住の外国人への支援策として、「外国人のための枚方生活ガイド」にDV相談窓口、男女共生フロア・ウィルの各種相談事業を掲載した。また、10か国語対応の相談窓口であるDV相談プラスについて、広報・HP・SNSで周知した。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○								
			観光交流課	通訳・翻訳ボランティアを組織して、市内の行政サービスに係る通訳・翻訳について対応。 対応内容は、市長メッセージや各種申請書類等の通訳、学校における保護者懇談会や家庭訪問への同席通訳等。	○（概ね達成）		推進・現状維持	◎	○	○			事務事業実績測定指標					
			事務事業名称		国際交流推進事業													
			所管課		観光交流課													
			指標種類		増加することが良いとされる指標													
指標説明		通訳・翻訳の依頼件数																
目標		実績																
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7													
132件	162件	88件	131件															

111	医療通訳士登録派遣事業	外国人市民等が安心して市内の医療機関を利用できるように、医療通訳士を養成し、市内の対象医療機関に派遣する。	健康福祉政策課	医療通訳士の医療機関への派遣を実施（中国語235件、英語54件）するとともに、医療通訳士に対するスキルアップ研修（現任研修）を実施した。 また、医療通訳士の増員及び対象言語の拡大を図るため、枚方市医療通訳士養成講座を開講し、R5年12月に新たに医療通訳士3人（中国語1人、英語1人、韓国・朝鮮語1人）を登録した。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		医療通訳士登録派遣事業			
													所管課		健康福祉政策課			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		通訳士派遣依頼件数のうち派遣できた			
													目標		実績			
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7													
95%	100%	99%	100%															

112	枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」	日常生活において、日本語の読み書きや会話に困っている方を対象に、日本語の学習の場を提供することを目的とした枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」を開催する。	教育政策課	●生涯学習市民センター（6カ所）で実施（一部、文化生涯学習課の補助執行）。R5年度の延べ参加者数2,344人 ●スタッフのキャリアアップを目指した「スタッフ研修」を実施（参加者数32名） ●「北河内識字・日本語交流会」（会場：寝屋川市）へ参加（参加者数18名）	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			事務事業実績測定指標					
													事務事業名称		社会教育活動推進事業			
													所管課		教育政策課			
													指標種類		増加することが良いとされる指標			
													指標説明		社会教育活動推進事業の参加者に対するアンケート結果（満足度）【算出式：アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した人数／アンケート回答者数×100】			
													目標		実績			
(見込み)	R3	R4	R5	R6	R7													
80%	91.99%	93.23%	92.04%															

(4) 男女共同参画の視点に立った防災など地域活動の推進

				R 5 年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標	
施策 番号	①取組名	②取組内容	③所管課	④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用	
113	枚方市防災会議の女性委員比率の向上	多様なニーズを防災対策へ反映させるため、枚方市防災会議の委員に占める女性の割合を高めるように取り組む	危機管理政策課	委嘱依頼の際に、男女共同参画計画にかかる趣旨説明文を作成し送付することで、各機関からの推薦時における女性登用の呼びかけを実施している。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○				
114	男女共同参画の視点を踏まえた災害対応マニュアルの作成	男女共同参画の視点を踏まえ、避難所運営マニュアル、自主防災組織活動マニュアルなどの各種対応マニュアルを必要に応じて作成、改訂する。	危機管理対策推進課	本市で作成している避難所マニュアルには、女性用トイレや更衣室の設置、また女性用品の配布など、避難所を運営する上で、女性に配慮するべき事を盛り込んでおり、R5年度、新たに改訂等は行わなかった。避難所運営は男女に限らず多角的な視点が必要である。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標	
													事務事業名称	自主防災組織育成事業
													所管課	危機管理対策推進課
													指標種類	増加することが良いとされる指標
													指標説明	各校区の自主防災訓練の訓練参加者数
													目標 (見込み)	実績
													9000人	R3
115	男女共同参画の視点を踏まえた防災体制の強化	校区自主防災組織が中心となって行う避難所運営において男女双方の参画を推進し、性別、年齢、障害の有無などに応じた多様なニーズに配慮した安心、安全な避難所運営を行うため、平常時から地域防災推進員の育成や防災訓練を行うなど、性別を問わず、防災に対する知識を有する人材育成に努め、体制強化を図る。	危機管理対策推進課	自助・共助による防災対策の重要性を地域全体に普及させる役割を担い、災害時に救助や消火等を行える人材を育成することを目的とした、地域防災推進員の育成研修会で実施したクロスロードゲームにおいて女性にも参加をしていただき、女性視点の避難所運営も重要であるとの意見交換が活発に行われた。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			事務事業実績測定指標	
116	地域活動への男女双方の参画の促進	多様な視点を取り入れて地域力を強化するため、地域のボランティアやNPOなどによる地域活動においては、男女双方の参画の必要性を踏まえ、その啓発に取り組む。	市民活動課	NPOサポート事業において、各種講座やイベント等を開催する際、男女双方の特性を踏まえた意見交換会ができるよう、男女の割合を考慮してグループを編成した。	◎（達成）		推進・現状維持	○	○	◎			事務事業実績測定指標	
													事務事業名称	地域防災推進員育成研修会
													所管課	危機管理対策推進課
													指標種類	増加することが良いとされる指標
													指標説明	地域防災推進員育成研修会修了者数【累計】
													目標 (見込み)	実績
													1040人	R3

基本目標 5 男女共同参画を推進する体制の整備

(1) 政策及び方針決定過程における男女共同参画の推進

施策 番号	①取組名	②取組内容	③所管課	R 5 年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標					
				④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用					
117	審議会の女性委員比率の向上	すべての審議会等の女性委員比率が35.0%以上となるように取り組み、どちらかの性に偏ることのない構成の達成を目指す。	全課	全ての審議会における女性委員の比率を35%以上にすることを目標としているが、全審議会のうち女性委員比率35%を達成した審議会はR5年度は54.2%と、前年度の68.1%よりも減少した。一方で、女性委員が全くいない審議会は5つあった。	△（未達成）	女性委員が35%を満たさない理由として ・構成機関の長（充て職）が男性 ・各種団体から推薦のあった委員が男性 この2点が多い。女性の長が少ないこと、推薦をもらう団体内に女性が少ないことが関係している。 各課が所管する審議会構成員において、構成機関の長（充て職）については長以外の者でも委員になれるのか検討するとともに、ドーンセンターが実施す女性委員の紹介制度の利用を促し、女性比率達成を目指す。	推進・現状維持	△	△	△								
118	職員の能力開発	市職員の男女構成のバランスを図るため、職域の拡大、能力開発に取り組む。	人事課	R2年4月に新たに策定した特定事業主行動計画において、女性採用試験申込者の割合をR8年度に50%（事務職）、20%（技術職）を目標と設定した。これまでに引き続き、採用セミナーやHPにおいて、本市が女性にとってやりがいを持って働くことのできる「魅力ある職場」であることをPRした。 R5年度の職員採用試験・・・女性申込者の割合43.1%（事務職）、10.5%（技術職）	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○								
119	管理職に占める女性職員比率の向上	多様な視点を施策構築等に活かすため、市政の方針の決定に重要な役割を担う管理職への女性職員の登用をさらに推進し、市民サービスの維持、向上を図る。	人事課	管理職に占める女性職員比率30%という目標の達成に向けて、特定事業主行動計画に基づき、研修の実施や女性管理職のロールモデルの提示等を行うことにより、女性職員の意欲向上に努めた。 R5年4月1日現在・・・女性比率 28.5%	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			管理職に占める女性の割合					
														R3	R4	R5	R6	R7
													理事級	0.0%	0.0%	0.0%		
													部長級	21.7%	21.7%	16.7%		
													次長級	15.8%	19.6%	21.1%		
													室長級	11.1%	12.5%	12.5%		
													課長級	22.8%	21.7%	25.4%		
120	学校における方針決定の場への女性参画の促進（8の再掲）	学校運営において、女性管理職の割合の増加及び首席、主任への積極的な活用など、学校における方針決定の場への女性の参画を促進する。	教職員課	R5年度教職員の人事異動の結果、小中学校における女性管理職は以下のとおり。 小学校44校中、校長12人、教頭10人、中学校19校中、校長5人、教頭6人。 当課が担当する指定校の選出や会議の代表者選出の際に、管理職の男女比のバランス等に偏りがないようにした。	◎（達成）		推進・現状維持	○	◎	◎			管理職に占める女性の割合（小学校44校、中学校19校） ※管理職の任免は任命権者である大阪府教育委員会が行う。					
														R3	R4	R5	R6	R7
													小学校校長	20.5%	22.7%	27.2%		
													小学校教頭	20.5%	27.3%	22.7%		
													中学校校長	21.1%	21.1%	26.3%		
													中学校教頭	26.3%	31.6%	31.5%		

121	民間事業所における女性の 登用促進に向けた取り組み	民間事業所における女性の登用促進に向け、啓発な どの取り組みを大阪府等と連携して推進する。	人権政策課	労働局雇用均等室や大阪府の労働相談セン ターが発行する相談窓口の案内チラシなど を男女共生フロア・ウィルの情報コーナー に配架し、市民への周知を図った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			
			商工振興課	大阪府が実施した女性活躍推進法に関する 事業のチラシやリーフレットを窓口を設置 しました。	◎（達成）		推進・現状維持	◎	◎	◎			

(2) 男女共同参画の視点に立った施策展開

施策番号	①取組名	②取組内容	③所管課	R 5 年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標	
				④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用	
122	枚方市男女共同参画計画アクションプログラムの策定と進行管理	枚方市男女共同参画計画アクションプログラムを策定し、枚方市男女共同参画計画に基づく施策を推進する。毎年度、進捗状況を公表する。	人権政策課	第3次男女共同参画計画の後期アクションプログラム進捗状況について、事務事業実績測定指標の数値を記載し施策の進捗が把握できるよう様式を見直し、ホームページ等で公表した。	○（概ね達成）		推進・現状維持	◎	○	○				
123	男女共同参画の視点に立った施策の点検と実施	施策の策定にあたって、性別にかかわらず利用しやすいものであるか、その効果が性別によって偏らないかを検討する。性別によって違いのある施策については、違いが適正であるかの確認を行う。また、施策の実施にあたっては、男女共同参画の視点に立った点検を踏まえ、企画・運用する。	全課	性別を理由として役割を固定的に分ける考え方や、性別に関する無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が自分の中に存在する可能性に気づき、それを解消する必要性を理解した上で、事業の企画や制度の構築に動めた。また、職場の一員として、性別にかかわらず誰もが平等に機会を与えられ、能力を発揮できる就業環境の形成に努めた。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○				
124	男女共同参画推進本部幹事及び推進担当者研修	職場における男女共同参画への理解を促進し、男女共同参画の視点に立った施策を着実に推進するため、男女共同参画推進本部幹事（関連する部の総務担当課長）及び全課に配置している男女共同参画推進担当者への研修を行う。	人権政策課	男女共同参画推進本部員及び同本部幹事を対象に「女性活躍推進研修～多様な人材が働きやすくなるための組織づくり～」（参加人数37人）、男女共同参画推進担当者を対象に、「みんな"男"がわからない？～「一般男性」の話から見た生きづらさと男らしさのこと～」（動画配信）（参加人数102人）を実施した。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			事務事業実績測定指標	
													事務事業名称	男女共同参画計画推進事業
													所管課	人権政策課
													指標種類	増加することが良いとされる指標
													指標説明	男女共同参画推進担当者の参加割合 【算出式：男女共同参画推進担当者を対象とした研修参加人数／男女共同参画推進担当者数×100】
													目標	実績
													(見込み)	R3R4R5R6R7
125	性別記入欄の必要性の確認	市の申請書や証明書などの性別記入欄について、法的な根拠や行政手続き上の支障がない場合は、不必要な性別欄を設けることがないよう確認する。	全課	全課において申請書や証明書などの性別記入欄について、法的な根拠や行政手続き上の支障がない場合は、不必要な性別欄を設けることがないよう点検した。	○（概ね達成）		推進・現状維持	◎	○	○				
													100%	97%94.7%88.6%

(3) 関係機関や市民団体等との連携強化

施策 番号	①取組名	②取組内容	③所管課	R 5 年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標
				④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用
126	男女共生フロア・ウィル団体登録制度	市内で活動する男女共同参画に資する活動を行う市民団体の活動支援を行い、団体に対して男女共同参画に関する知識や情報を提供することにより、幅広い市民の男女共同参画意識の醸成を図る。	人権政策課	男女共生フロア・ウィル登録団体に対して男女共同参画に関する講演会等の情報提供や活動場所の提供などの支援を行った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			
127	関係機関等との連携	国、大阪府、その他の関係機関との情報交換及び連携を強化する。	人権政策課	枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議実務者会議（1回）、同代表者会議（1回）、同実務者・代表者研修（1回）を開催。中北河内ブロック男女共同参画施策担当者連絡会議（加盟10市1回）、京阪奈DV被害者支援連絡会（加盟6市1回）、大阪府内女性施設連絡会（加盟15市1回）に参加し、施策ごとに近隣市の関係機関や部署との連携を図った。	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			

(4) 意見等の申出及び人権侵害相談体制の充実

施策 番号	①取組名	②取組内容	③所管課	R 5 年度の取組状況				⑧参考：達成状況の推移					⑨関連指標
				④取組実績	⑤取組の達成状況	⑥未達成、未実施の場合の対応策	⑦R6の方向性	R3	R4	R5	R6	R7	※事務事業実績測定調査などから引用
128	男女共同参画に関する意見等の申出制度	市の男女共同参画推進施策などに関する意見及び性別を理由とする人権侵害などの相談についての申出制度について、相談窓口の整備及び周知を図る。	人権政策課	男女共同参画に関する意見・相談等の申出制度において、男女共同参画推進施策などについての意見・苦情等と、性別を理由とする人権侵害などの相談体制を整備し、広報・HPで周知を図った。（申出件数0件）	○（概ね達成）		推進・現状維持	○	○	○			